

いっしょに語ろう、もっと話そう。

2011

信頼

Vol. 57

中部大学後援会会報

座談会

ディプロマ戦略室 始動!
“あてになる大学”の
構築に向けて

特集：中部大学白書2011

知っておきたい

中部大学30のこと





特集
中部大学白書2011

知っておきたい

中部大学30のこと

中部大学ってどんな大学？ 保護者の方の疑問に答えるべく、今号の特集は、
本学の特徴、独自のイベント、学びの仕組みなどをピックアップしました。

2 70余年の時を超えて。

「**不言実行、あてになる人間**」は、創立者の三浦幸平先生が、本学の前身である名古屋第一工学校を設立（1938年）する際に建学の精神とした言葉です。実学を大切に
する今日の中部大学に受け継がれています。

3 最後の一人まで。

就職活動の際に必ず訪れてほしい場所が**キャリアセンター**です。学生一人ひとりの価値観や事情に沿った指導で
バックアップ。教職員が一丸となり、全員の進路把握を実現
しています。

1 1万人が集う場所。

中部大学では、**5研究科7学部29学科**
の全学生がワンキャンパスに一堂に集結。その数、
10,114人*。総合大学ならではの多様な学生が集
い、学び合っています。*2011年5月1日現在



5 充実した学生生活を!

中部大学では、学生みんなの「何かやってみよう」という気持ちを後押しするために、誰でも参加できるチャレンジプログラム「**Let's CHALLENGE**」を用意。大学で自分を変えたい!と思っている方は必見です。



※掲載された課外活動に5つ以上参加した学生に、1,000円分の図書カードを進呈。(後援会が協力しています)

7 日本語 ↔ 外国語。

海外協定校からの外国人留学生の日本語学習をサポートする**カンバセーションパートナー**。世界が広がることはもちろん、親しくなれば、逆に外国語を教えてもらえるかも…。



9 結構、本格的です。

食品の加工・製造の実際を深く理解するために造られた施設、**食品プラント**。食品工場の衛生管理システムをモデルに設計された全国にも類を見ない本格的な食品製造実習プラントです。



4 万全の留学サポート。

世界20の大学や機関と協定・提携を結んでいる本学は、期間や目的別にさまざまなタイプのプログラムを用意しています。

▶プログラムの詳細はP.37をご覧ください。

6 生涯の友と出逢う。

仲間との親睦や大学生としての自覚を深める1泊2日の**新入生恵那研修**は、毎年新入生を対象に恵那の中部大学研修センターで実施。学科ごとにおこなわれ、多くの友人をつくる場となっています。



8 厳しい状況での健闘。

2010年度の学部卒業生の就職率は**93.4%**。厳しい就職環境のなか、今年は昨年度および全国平均を上回る結果を残すことができました。



11 学部を超えて。

「**副専攻**」は所属学科の専門科目以外を学ぶことにより、専門性を備えた万能型人材を育てる、総合大学の強みを活かした教育制度です。

12 いよいよ6万人突破!

本学の卒業生数は、2011年3月31日現在、**59,514人**を数えます。今後も「あてになる人間」を社会へ輩出し続けます。

10 就職の強い味方。

中部地区企業等の後援組織「**幸友会**」。学内企業説明会には、多くの会員企業様にご参加いただいているほか、大学の授業で学生へ講演いただくなど、就職活動を影から支えています。

▶詳しくはP.15をご覧ください。

14 困ったときは…。

学生生活を送る上でのさまざまな問題、悩み、心配事についての相談を受け付けている「**学生相談室**」。カウンセラーと一緒にじっくり話し合い、解決の糸口を探ります。



13 徹夜で歩く42キロ。

春日井キャンパスから恵那の研修センターまでの約42kmを一晩かけて歩き通す初夏の名物行事「**ナイトウォーク**」。仲間と励まし合ってゴールしたときの達成感はひとしおです。



15 就職支援サークル。

内定を獲得した先輩の声は、就活中の学生にとってはとても心強いもの。**キャリアメッセンジャー**は、後輩のために就職ガイダンスを企画するなど、主体的に活動しています。

16 年末の恒例イベント。

1976年から学園の伝統行事としておこなってきた音楽祭は、2004年から**中部大学音楽祭チャリティーコンサート**として開催。音楽系クラブが日頃の練習の成果を披露する場になっています。

▶ 昨年の模様はP.25をご覧ください。

17 神宮球場と同じ?!

ピッチングマシンが5台も入った**硬式野球部の室内練習場**。内野守備や遠投もできる広さを誇り、人工芝はなんとあの神宮球場と同じものを使用しています。



18 キャンパスのオアシス。

梅見門をくぐり、池を渡ると、そこには伝統的の和風建築物。近代的な建物が建ち並ぶキャンパスで、大学の中とは思えない和風情緒漂う**茶室**は一見の価値あり。



19 チャレンジを応援!

「**チャレンジ・サイト**」は、新しい物事にチャレンジする意欲を持った学生に対して、さまざまな形で活動の機会や刺激を与え、支援し育てるための活動です。

▶ 詳しい内容はP.35をご覧ください。

20 マスコミ志望に最適。

最新鋭の視聴覚機器を駆使した学習支援施設「**メディア教育センター**」。映像、音響、編集のスタジオをはじめとした施設で、本格的なメディア制作技術を習得できます。



21 先端研究をサポート。

実験用動物の飼育室や実験室を整えた「**実験動物教育研究センター**」。遺伝子改変マウスの作成などができる充実の施設環境で、先端研究や実習教育をサポートしています。

23 学内で国際交流。

海外から多くの**留学生**を受け入れている本学。その数106人。一緒にランチを食べるイベントもあり、学生のやる気次第では、海外の文化や外国語に触れる機会を増やせます。

25 今春、堂々完成!



剣道、柔道、空手、少林寺拳法といった武道をはじめ、バスケットボールやバレーボールなどでもできる4階建ての**武道体育館**が、今年の4月にオープンしました。

▶詳しい内容はP.53をご覧ください。

27 さあ、苦手科目を克服。

英語・数学などの基礎科目の学力アップのために、学生からの学習相談を受け付けている**学習支援室**。担当の先生方が親切・丁寧にサポートします。



30 東京ドーム8.6個分。

約43万㎡の広さを誇る**敷地面積**。その広さは東京ドーム約8.6個分。ワンキャンパスだからキャンパス間の移動もなく、全学部、全学生が一堂に集まります。



22 中部地区初!

日用品はもちろん、お弁当やお菓子などが買える、大学生の心強い味方コンビニエンスストアが昨年オープン。東海4県の大学内で**セブンイレブン**が出店したのは初めてです。

24 運営はすべて学生。

中部大学ボランティア・NPOセンター(ACTA)は、2004年9月に学生自身によるボランティア活動団体としてスタート。行政・企業・NGO/NPOと連携し、学内・地域社会・国際社会のさまざまなレベルで社会貢献をおこなっています。

▶詳しい内容はP.32をご覧ください。

26 大学で貯金ができる!?

1977年の開設以来、多くの教職員や学生に利用されてきた**「中部大学内簡易郵便局」**。郵便物の送付はもちろん、公共料金の支払いにも便利です。近くには三菱東京UFJ銀行のATMもあります。

28 今日のランチは…?

学内最大の座席数の“一食(第1学生ホール)”や麺類が豊富な伝統の“二食(第2学生ホール)”など、広大なキャンパスにバランス良く配置された**学生食堂**(ガクシヨク)。マクドナルド、スガキヤ、イタリアントマトカフェJr.などファストフード店も人気です。



キャンパスランチ 480円

29 万ーに備えて。

中部大学では、大災害に備え、緊急時に学生の安否を速やかに確認できる**安否確認緊急通報システム**を導入。事前に登録したメールアドレスへ一斉に安否確認の通報をおこない、それに対する回答を得ることで、被災状況を迅速かつ正確に把握します。

人間教育のベースは家庭から。 親子間のコミュニケーションを大切に。



この程、青山会長の後を引き継ぎ、会長に就任いたしました宮田です。謹んでご挨拶を申し上げます。

さて、学長から保護者へのご挨拶にあった「学外の客員教授」を引き受けていただきたいというお言葉は、家庭教育をしっかりと願いますということだと、私は捉えています。

ひと昔前、テレビが家庭に一台しかなかった頃、子どもは親にせがみ、見たい番組を見たものでした。自分の部屋やテレビを持ち、インターネットが普及した今、家庭や学校でも人とふれあう機会を積極的につくる必要があると思います。人の能力は常に使わないと衰えていきます。コミュニケーション能力も同じです。人の顔や表情を見て、対話して、相手の感情を読んでその能力を高める必要があります。しかし最近の学生は、この人との関わり合いを面倒なこと

として毛嫌いしている感じがします。そしてコミュニケーション能力不足のまま成長して社会に出てしま

う恐れがあります。人間教育のベースは確かに家庭にあります。しかし、人間としての成長は家庭教育と学校教育の両輪で支えてはじめて実現できるものです。

後援会は、保護者と教員が交流し、情報を収集できる場所です。毎年秋に開催される「父母との集い」へ参加すれば担当の教員の方と直接わが子の教育について話し合い、アドバイスを受けることもできます。このような機会を活かして、ぜひ大学との接点を多く持つていただきたいと思えます。そうして得た情報やアドバイスが、親子間でのコミュニケーションを深めるきっかけになり、家庭教育の一助になれば幸いです。

保護者の皆さまとともに、 景気変動に動じない 人材の養成を目指します。



中部大学後援会の皆さまには、日頃より就職支援に対する援助をはじめとしたさまざまなご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

大学の近況報告といたしまして、今年度の4月から「デイブロマ戦略室」という組織を立ち上げ、私自身がその室長を務めさせていただきますいております。大学での勉学の成果を職業の場において効果的に発揮するための支援として、これから大学を挙げて活動していく所存です。これまで学生が就職について直接的に考え始めたのは3年生になつてからでしたが、これからは1年生の春学期より学生自身の人生設計や職業研究を順次進めていくことを計画しています。私が目指すのは、大学に入学したすべての学生が4年間で卒業、そして就職をすることです。しかし、これほど世

の中が複雑に変化している時代に、これは学生の自己責任だけでは難しい問題です。ですから、学生、大学、保護者の皆さまが一緒になつて取り組む必要があります。私は、保護者の皆さまに学外の客員教授になつていただきたいと思えます。親としては甘えが出てしまします。是非、教授としてお子様をご指導いただきたいのです。

大変厳しい時代ではありますが、社会人として十分な能力、資質、態度を身につけた学生であれば、世の中の景気の良し悪しなど物ともしないはずであると私は思っています。保護者の皆さまにもご協力いただき、学生と我々大学とが三位一体となつて歩を進めていきたいと考えている次第です。ご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

CONTENTS

信頼

Vol. 57



表紙 / 国際関係学部 中国語中国関係学科3年 伊藤 理佳さん(左)
国際関係学部 中国語中国関係学科3年 渡邊 久晃さん(右)

特集:中部大学白書2011
知っておきたい

中部大学30のこと

P.01

ディプロマ戦略室 始動!

“あてになる大学”の 構築に向けて



P.07

大学を挙げて取り組む
キャリア支援

P.13

父母インタビュー

親だからこそひと言いわせて。

P.39

内定獲得&大学院合格
私を動かした原動力

P.17

学生インタビュー

震災から学んだこと、気づいたこと。

P.45

Close Up
クラブ&サークル

P.19

平成23年度中部大学後援会

「役員会・評議員会」報告

平成22年度事業報告 / 平成23年度事業計画 /
平成23年度後援会役員・評議員名簿 / 後援会会則

P.47

就職トピックス

P.23

Information

施設利用&イベント開催のご案内

P.50

Year Album 2010~2011

P.24

My Campus Life

P.51

学部紹介

P.28

最新ニュース

News & Topics

P.53

ボランティア・NPOセンター活動報告

P.32

チャレンジ・サイト活動報告



P.35

国際交流バックアップ

P.37

ディプロマ戦略室 始動!

“あてになる大学”の構築に向けて

座談会



〈後援会事務局長〉

みうら まさお
三浦 昌夫 先生(司会)
中部大学学監

〈中部大学副学長〉

ごとう としお
後藤 俊夫 先生

〈キャリアセンター長〉

さとう あつし
佐藤 厚 先生
工学部 応用化学科教授

戦略室設置の背景と意図

三浦 本日はお集まりいただきましてありがとうございます。早速ですが、「ディプロマ戦略室」をつくった背景を学長よりお願います。

山下 近年、若年労働がこれほど劣化した時代はありません。世の中が若者を尊敬しなくなり、大学に期待しなくなっています。

地域など大学のステークホルダーの意見や要望、知恵を合わせて成り立つものです。今はモノをつくれ売れる時代ではありません。人材養成も同様で、社会で必要な人材を育てるために必要なことを研究して教育に反映させたい。社会で活躍するためににはどんな資質、素養、能力、態度が必要なのか、常に社会の要請を受け入れながら考えていく必要があります。

三浦 これではいけないという思いから教育改革を発想し、建学の精神である「あてになる人間」をもう一度つくるのが源流にありました。「役に立つ人間」をつくる、それが大学の社会に対する一番の仕事だと思います。今、入学初年次から全学共通教育を実施。そして専門教育の最後の仕上げで絶対に省いてはいかない、学士の質をどう確保していくかがこのディプロマです。そこで何を目標にするかを一言で言う

三浦 デイプロマの発想は以前からあったことがわかると思います。では次にキャリアセンター長の佐藤先生から戦略室の話聞いたときの印象を聞かせてください。

と職業的に自立する能力を4年間でどう与えていくかということ。この職業的な自立は大学の価値観だけでなく、企業や

佐藤 デイプロマと聞いて最初、資格や卒業証書という狭い意味から、教員が何をやるのかと受け取りました。しかし、話を聞くともつと広義。私大といえども社会的責任は重大で、人材を輩出する使命を帯びています。社会との連携が重要であり、社会全体から教育をどうするか、若者をどう育てるかを考えなければならぬという話で

大学の個性化や特色の明確化を目指した教育課程の改善、
就職活動支援に直結する卒業・就職までのサポート強化など、
いま中部大学は、全学をあげて「ディプロマポリシー」の確立に取り組んでいます。
ここでは、大学の教員と後援会役員が意見交換をおこなった模様をご紹介します。

※ディプロマポリシー…本来、ディプロマとは、卒業証書、資格免状を意味するもの。社会からの信頼に応える人材育成を目指し、大学が掲げる建学の精神、教育目標、独自のカリキュラムなどから策定した、卒業認定・学位授与に関する方針のこと。



〈後援会前会長〉
あおやま まさし
青山 正史氏

〈後援会会長〉
みやた ひろし
宮田 弘氏

〈中部大学学長〉
やました おきつく
山下 興亜先生
ディプロマ戦略室 室長

した。その視点が我々教員も欠けていたと思います。今後は、大学と社会との具体的なつながりが必要です。本学の前身は工業大学でしたので、学科の名前が即社会での職種を表わしていました。ところが今は職業を直接反映する学科名の方が少ない。そんな今、学生が自分の卒業後の姿を彷彿させる教育や仕掛けが必要だと思っています。

三浦 教育改革は後藤先生が中心に進めています。ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーについての考えをお話願います。

後藤 カリキュラムと直接つながる最後の出口がディプロマです。つまりディプロマポリシーは、大学4年間の教育内容をしっかりと見た上で考えていく必要があります。教育改革の中で、全学共通教育は単にその授業科目の中身をどうするかだけでなく、大学がこれからどんな人材を育てていく必要があるかを踏まえて進めてきました。学生が知識を修得するだけでなく将来について考えられる場をもつて教育する。新しく導入した初

年次教育やキャリア教育はまさにディプロマポリシーに直接つながっていく科目です。これらは少人数の対話形式でおこなっています。また、それに続くスキル教育ですが、中身は英語・日本語・情報で、特に日本語は、必ずしもその素養を学生が充分持っているわけではありません。しかし社会に出たときには最も重要で必要になるものです。全学共通教育全体としてどういう人材を育てるかを考えながら、今後は人文、社会、自然、科学技術などの科目も設定し内容を充実させていきます。

三浦 ありがとうございます。次は、本学独自のディプロマポリシーについての考えを学長からお願いします。

山下 これはまだ合意を得ていませんが、私は4年間で学士の学位をとって進学希望者以外は、「全員就職」ということを言いたい。職業選択の自由はありませんが、仕事をするかしないかの自由はないと思っています。100%就職、つまり全員が社会に出て社会的、経済的に自立



人としての公益性や社会性の教育が抜けています。ユニバーサル時代と言われる今、中部大学は就職率99%で喜んでいてはいけません。100%就職を中部大学の価値観にしなければいけないと思っています。

後藤 その実現のために教育改革で新しい教育をおこなっているわけです。初年次教育でスタートアップセミナー、キャリア教育

して社会のために働くことです。もう一つは、最初に就いた職で10年間は我慢して学ぶこと。仕事こそが人間を成長させる。本学のディプロマポリシーとして、そのような職業人としての魂の部分を私は入りたいと思っています。また、専門性と職業感の違い、専門的な知識や能力を持っているから職業人として成り立つかと言ったらそうではありません。大学教育は、専門教育には真面目ですが、その専門性を活かす個

育で自己開拓や社会人基礎知識という科目を実施。それらに続いて、インターンシップもあり、一連のキャリア教育一貫体制ができてきました。多くの学生がこの一貫体制の中で学び、4年で卒業できれば、他大学に誇りうる教育ができると思います。
三浦 佐藤先生は他大学のキャリアアセンタールも見ても本学の独自性を感じ取られていると思います。
佐藤 ディプロマ戦略として3つの目標を掲げていますが、こま

で踏み込んでいっている大学は少ないと思います。100%卒業のためには、事前に留年、退学の芽を摘み就職ヘリロードすることがやはり教育者としての役目です。その心意気で学生に対して厳しく接しますが、敗者復活、つまり一回失敗しても学生が再挑戦して合格ラインを突破すれば丸印をつける体制が、全学でできるのも一つの教育の形とも思っています。2つ目の100%就職は、言葉を変えると自立した大人を早くつくるということです。面接で落ちる学生は、どこか幼い部分を感じることもありますが、単なるスキルではなくそういうことを身につけて一歩踏み出す

ことが必要です。そして3つ目が教育活動の評価です。我々の教育はこれでよかったのかと常に反省して改善に結びつける、そういうマインドをすべての教員が持つ必要があります。それには同窓会組織や大学としてフォローアップできる体制、企業から本学卒業生の評判を聞ける体制を早くつくる必要があります。

親の立場から望むこと

三浦 では、今の本学独自のディプロマポリシーに対して、親の立場からのお考えを青山前会長と宮田会長からお願います。

青山 ディプロマという言葉自体の理解にだいぶ時間がかかりましたが、学長からのお話で印象的だったのは、全員就職や最初の10年は続けるというお話、また、自立した大人をつくるという言葉です。会社としては平均的な人材を求めているわけではありませんが、それでもこの社員は少し何か足りないというところがあります。それも個性とい

えば個性ですが、人は、資質や努力により平均的に見られるわけです。在学中から自立した大人を目指す努力をすれば平均点が上がると感じました。自分が学生の頃を振り返ってみたいのですが、大学はのびのびやりたいことをやればよいという大らかな時代だったと思います。通常は4年間で、就職前に自分自身でやりたいこと、極めたい道を探すという時間だと思いがちで、私自身中部工業大学を卒業しました。当時も就職指導はあったと思いますが、ほとんど自分でやっていたと思います。また、大学は専門性や学問を極めて自分の知りたいことを深く掘り下げたいという場であると思っていました。実社会で求められる人材の育成に際しては、カリキュラムの改革をする。中部大学は非常に先進的です。高い就職率を得ている。中部大学が新しいことにチャレンジしていることも、父兄として非常に心強く感じました。履歴書提出の時代から、今はインターネットでエントリーする時代。ただでさえ情報が多く、情

中部大学におけるディプロマ戦略

- ① すべての入学者を4年間で卒業させるために(100%卒業)
—留年者・退学者ゼロへの取り組み—
- ② すべての学生の進路が決まるために(100%就職)
—社会人教育の強化と就職戦略の立案・実施—
- ③ 卒業後の活動評価の実施について
—ディプロマポリシーの検証—

報の取捨選択も困難です。学生にとつては、専門的な学びと社会人として必要な知識や心構えの修得などますます忙しくなりますが、しっかりとやってほしいと思います。

宮田 総務部長として面接をしてきた中で学生や社員の行動を見ますと、自分の中だけで物事を完結して考えていると感じます。例えば会社を辞めるときでも、誰にも相談せずに思いつめてやってくる。先輩や同期に相談もせず、もう私は決めましたと言う。自分の中にこもってしまうんです。パソコンに向かってばかりの仕事で、他の人が何をしているかわからず、新入社員が入ってきてても親身になってあげる時間もない。社会人教育としてきちんとした二対一の人間関係を考えなくてはいいけません。人の顔を見て話したり意見交換したりということが減っています。コミュニケーション能力は使わないと劣化します。ときに意見交換をして、けんかをして、喧々諤々して、そうして初めて自分の考え方ができるものです。先輩や後輩、あ

るいは卒業生も含めて、もう少し社会とつながることが大切です。インターンシップ制度でも我々企業側も親身になり、もっと意見交換をして、働く意味を理解させて、コミュニケーション能力を養っていくことが必要だと思います。

佐藤 大手の就職関係雑誌のアンケートで企業が求めることの上に必ずコミュニケーション能力がきます。専門的な能力よりまずコミュニケーション能力を重視する。宮田会長のお話のとおり、実はコミュニケーション能力なんです。顔を見て話したり、信頼関係を醸成する術のすべてですよね。



宮田 我々も面接するとき、学生が失礼しますと部屋に入ってきて二言三言話す間に、人間力や可能性を判断します。この学生なら一緒に仕事をしたいかどうかは、面接官の間で一致します。学生にも極端な勝ち組と負け組があるのは事実。ですから人間力などを切磋琢磨する場を強制的につくる、それも学生だけではなく、社会人とのコミュニケーションを図ることも一つの手ですね。

三位一体の連携づくり

三浦 社会と家庭と大学、この3つが教育の場ですから、これらがうまくいかないと本当に良い人間、人材は育てられません。大学単独では限界があるわけで、お互い連携を図るためにも後援会の存在はとても大きい気がします。

佐藤 そうですね。学長の言われる保護者のみなさんが「客員教授」という言葉は、今の家庭教育を含めて、積極的な教育への参加をお願いしたいということ

だと思います。

山下 やはり働くことを抜きにして人間は存在しないという共通の価値観を、大学、家庭、社会の三者が持たないといけません。そこが抜けているからコミュニケーションもできなくなる。人は、家庭で手伝いをしたりして小学生も大学生も働かなくてはいいけません。労働は学校を卒業してから初めて始まるという考え方では成り立たないと思っています。そして働くことは、実は人から褒められることでもあります。すべて金勘定できることだけが仕事ではありません。金勘定に对应しないけれど、貴重な仕事は多々あります。でも今はお金で価値評価できることだけを仕事と認めていることに問題がある。私は昆虫の研究をしています。私は昆虫の研究には無業や失業は一切ありません。なぜなら生まれながらその身体能力に合わせた仕事をさせるからです。人間社会でもそ



の人に合った仕事を提供していくことは重要です。だから私は、学生も大学の発展のために貢献（参加）しなければいけないと言っています。教育は与えられるものではなく、お互いにつくるものであると。少し飛躍しましたが、このディプロマを考える時も、仕事なしに人間社会は成り立たないことを一番問題にしたかった。だからその価値観を三者で共有して、それを中部大学ファミリーの基盤にしていきたいと思えます。

後藤 学生も授業を受けるだけではなく、働く意味や重要性



部は、これから企業との関係をつくっていく必要がありますね。

宮田 OBが入社していれば、安心感もありパイプも強くなりえます。先生が企業へ直接行くことで、ここならあの学生が合うと

か、インターンシップでもこの学生ならばこの企業だということもできると思います。また、大学1年から起業家を目指すような人間がそばにいと、あいつは頑張ってるな、だったら俺も何かや

らなきや」と周りの学生にとって刺激になります。一つの成功事例があると次の展開にもつながる。彼ら自身もモチベーションを得たいと思っているし、応援すればほとんどん上がっていくと思います。

またディスカッションでも、企業人一人に対して数人の学生ではなく、企業の方数人の中にポツンと学生がいると刺激があります。座談会のように、幸友会の人たちと学生とが同じ人数で語り合っても面白いと思いますね。

三浦 ありがとうございます。

この要望を受けて中部大学の目指す姿をお願いします。

山下 本学ではAO入試の合格者に入学前教育として私から宿題を出しています。テーマは、両親と相談して将来について書くこと。その趣旨は、親にとって重大な子どもの進路について面と向かって話すきっかけをつくってほしいからです。それが「客員教授」になっていただくということであり、客員教授が教授する中身です。グローバルゼーションの変革期において日本の学生がどれほど世界に通じる

仕事をやるか、どんな伝統をつくるかがかなり重要。そういう点で大学独自でできる課題や、多くの人の指導を得て取り組むべき課題の仕分けをしなから、変革期からもうひとつ次の時代に向けて頑張ることが必要だと思います。今は課題を選択する時代ではない、むしろ課題をつくり、課題がきたらその課題をどう解決するかを考える時代なんです。

あるいは留学を目指して一生懸命やっている、そういうことが非常に重要だと思います。学長が普段、「学生も大学に貢献しなさい」と言われますが、それぞれの学生が、それぞれの立場で少し高いところを目指す、自分だけでなく回りへも影響を与えていく。それが学生も参加しているということなんです。昔は教育目標を掲げていましたが、最近はず習教育目標といえます。それは教員も学生も目指す目標ということなんです。今、学生数が1万人を超えました。文系、理系、さまざまな学生がいて、お互い新しい考えが生まれるようなシナジー効果が出れば、大きなキャンパスである意味が大きいですね。

三浦 テーマは本学独自のディプロマでしたが、これは、日本の大学教育改革の中部大学版だと思っただけでよいと思っただけです。中部大学がこれからもうひとつと肌脱いで、社会に対して責任のとれる立派な大学になるという非常に意味のある座談会だったと思います。本日は、どうもありがとうございました。

後藤 大学としてどういう人材を育てて社会に送り出していくかです。一言で言えば建学の精神の「あてになる人間」を育てて送り出すということ。専門能力はもちろん、自立心、公益心を含めた全人的な教育を受けて、それを身につけた人を送り出すということなんです。それは大学だけではなく、社会、企業、家庭と連携してつくる。その連携の形はまだ十分にできていないと思っただけです。今後さらに良い形をつくり、優れた人材を育てる大学を目指します。

佐藤 宮田会長のお話のように、ある学生が起業するため、あ

りがある学生が起業するため、あ

りがある学生が起業するため、あ

りがある学生が起業するため、あ

りがある学生が起業するため、あ

りがある学生が起業するため、あ

(株)生方製作所

マネジメントセンター 人事グループ 岡本様

入社後のギャップを減らすためにも
会社への理解を深めてほしい。

この説明会の魅力は学生の皆さんとの距離が近いこと。話をしている時の反応を確認しながら話を進めることができるので、こちらも説明しやすいというメリットがあります。弊社は社長自らが話をする説明会が独自にありますが、気になることはどんどん聞いてみてください。残業や給料など説明しづらいことはこちらから伝えます。そうすることで入社してからのギャップも少なくなります。こんなことを聞いてみたいという疑問を解消することで、私たちの会社のことをより理解してくれる場になればうれしいですね。

東海物産(株)

名古屋支店 Sデバイス第1部 轟様

企業説明会ではあるけれど、
共に働くパートナー探しの場でもある。

学生の皆さんへ伝えたいことは、5~10年後を意識して話を聞いてほしいということです。たとえば10年後、私が管理職になったとき、いま入社してくる学生は中堅です。つまり一緒に仕事をするパートナーになるわけです。私は、この人と共に仕事をしたいかという視点で話をしています。ですからいろいろな企業を見るときは、受け身で回るのではなく、ぜひ先を見据えて話を聞いてほしいし、質問してほしい。私は営業という立場から現場の声を発信していますが、そういう中から何かを感じ取ってもらえたらうれしいですね。

内堀醸造(株)

総務課 浅川様

本当に自分のやりたいことを
探し出すための質問をしてほしい。

弊社に中部大学OBが在籍しており、学風や学生の質を理解している点では、中部大生に合ったアプローチができ、より深く私たちの会社を知ってもらう意味でもこの説明会は有効だと思います。またこの場所は、説明会といえども採用活動の一環でもあります。ただしここで選別する気はなく、業務内容をよく知っていただくことが一番の目的です。ですから通り一辺倒の質問ではなく、会社を知るため、そして本当に自分のやりたいことを探し出せるような質問をしてほしいですね。この出会いのチャンスをぜひ活かしてください。

「学内企業説明会」

企業と直接交流できる

大学を挙げて取り組む キャリア支援

毎年2月に学内で大々的に実施する企業説明会。厳しい就職状況下でありながら、昨年は約740社と大変多くの企業にご参加いただきました。人事担当者のみならず営業等の最前線で働くOBも参加するため、現場の生の声が聞ける大変有意義な企業説明会です。
(4年生対象の説明会も5月・6月・7月・10月に開催)

就職を教育の一環としてとらえている本学では、1年次から初年次教育科目「スタートアップセミナー」とキャリア教育科目「自己開拓」を昨年度から導入し、職業を通じた人生設計まで含めた、総合的な指導・支援をおこなっています。

就職サポートプログラム

(2011年度予定)

※開催時期については、変更が生じる場合があります。

1年次

- 4月 初年次教育「スタートアップセミナー」
キャリア教育科目「自己開拓」
- 12月 卒業生と就職を語る会

2年次

- 4月 キャリア教育科目「社会人基礎知識」
- 5月 公務員試験対策講座
- 6月 自己理解プログラム
一般常識・基礎学力テスト
- 8月 就職筆記試験対策講座
- 12月 卒業生と就職を語る会
- 3月 就職筆記試験対策講座

3年次

- 5月 就職ガイダンス
CINET(中部大学進路支援システム)
登録と活用方法
今後の就活スケジュール
就職活動6つのステップ
働くこととは?
- 5月 自己理解プログラム①
適職診断テスト
- 自己理解プログラム②
一般常識・基礎学力テスト
- 7月 自己理解プログラム③
キャリアカウンセラーによる個別指導

ホシザキ東海(株)

管理部 総務課 安藤様

真剣に興味を持って来てくれる学生を、私たちも真剣に探しに来ています。

私は、就職活動において「数打てば当たる」という考え方は、当てはまらないと思っています。そういった考えの学生と、しっかり興味を持って来てくれている学生の違いを、私たちは見分けています。また、説明会で印象の良かった学生は選考する上でプラスの要素になります。学生の皆さんが今、必死で就職活動に取り組んでいるのと同じように、私たち企業側も必死です。私の目から見て、中部大生さんは他大学と比べて少しおとなしい印象がありますね。もっと個性を出して積極的にアピールしていてもいいと思います。

3年生

参加した学生のコメント

目指す業界や企業の話聞くことが一番ですが、それ以外の企業も知りたくて参加しました。今日は周りの学生の動きを見て少々焦りも…。でも企業の方と話をすることに少し慣れた気がします。

〈食品栄養科学科・男性〉

まだ業界研究をしている段階のため、たくさん企業を知ることができて勉強になりました。中部大学の学生に興味があり来てくださっている企業だと思うので、このチャンスを掴みたいです。

〈国際関係学科・女性〉

説明会に参加する企業を父に伝え、父からアドバイスや奨められた企業にも話を聞いています。まだ業界を絞っていないため、いろんな業界の話聞くことができました。

〈コミュニケーション学科・女性〉

建築系の企業を志望していますが、今回の説明会に参加したことで、建築業界以外の企業も受けてみたいと思うようになりました。視野が広がって、就活が楽しみになりました。

〈建築学科・男性〉

旭サナック(株)

総務部 人事課 高橋様

将来を考えるこの限られた時間に、家族にしかできないことを。

自分は何をしたいのか、将来を考える時間が就職活動です。今は大学側も学生へ向けてさまざまな情報発信をしています。そのような状況を踏まえてフォローしてあげることがご家族の役割だと思います。お子様本人の就労観を親身になって聞いてあげられるのは家族だけです。将来について向き合い、一緒に考え、悩んだりするなかでアドバイスをしてあげてください。一方、学生はそれを丸呑みしてもいけません。決めるのは最終的に自分ですので、自らの想いで決めるところまでサポートしてあげることが大切です。

オザワ科学(株)

管理本部 総務課 松原様

学内企業説明会は、私たちにとても大切な出会いのチャンス。

自分の大学での開催という安心感があるのでしょうか、合同企業展と比べ、学生さんの表情もリラックスして柔らかいですね。しかし、時代を反映するように、今年の学生さんは去年と比べてもさらに熱心な方が多いと思います。すでに企業研究や業界研究をしている方もいました。私たちにとても、この説明会は自社の会社説明会へとつなげる大切なチャンス。WEBからのエントリーでは、実際には説明会に来てくれない方も多いのですが、毎年こちらでお会いした学生さんは、来てくれる可能性も高いですから。

本多電子(株)

総務財務部 総務企画チーム 市川様

ネットの情報だけでなく、自分の目で確かめて企業研究をしてほしい。

こうした学内説明会の場ですと、とりえず話だけ聞いてみようという学生さんが多いのも確か。研究の一環として、もちろん良いことだと思うのですが、質問はどんなことでもよいので一つはしてほしいと思います。こういう機会を利用したり、自ら企業訪問をしてみてもよいでしょう。とにかく企業を知ろうという気持ちが大切です。ネットだけでなく、実際に自分の目で見なければわからないこともたくさんあります。いろんな企業を研究された上で弊社を選んでもらえたなら、それは私どもとしてもうれしいことです。

4年次

就職活動支援行事

- 就職個別相談会
- 学内企業説明会
- 面接対策教室

4年生を対象として、5・6・7・10月に開催しています。

詳しくご紹介しています。の内容は次ページに

- 5月 公務員試験対策講座
- 7月 留学生向け就職ガイダンス
- 8月 就職合宿セミナー
- 8月 留学生向け「就職活動支援講座」
- 第1回就職筆記試験対策講座
- 9月 業界研究会
- 10月 自己理解プログラム①
- 適職診断テスト
- 自己理解プログラム②
- 一般常識・基礎学力テスト
- 10月 履歴書作成のポイント、注意事項について
- 進路希望票、就カツ手帳の配付
- 10月 履歴書添削教室(個別対応)
- 11月 面接ガイダンス
- ・ 礼儀作法や身だしなみの留意点について
- ・ 模擬面接の実施
- 面接対策教室(個別対応)
- 12月 第2回就職筆記試験対策講座
- 1月 卒業生と就職を語る会
- 2月 学内企業説明会事前ガイダンス
- 2月 学内企業説明会(個別/合同)
- 就職対策直前講座(面接・グループディスカッション)
- 3月 第3回就職筆記試験対策講座

業界を知り、職業観を養う

インターンシップ

インターンシップは、将来のキャリアを意識した実習・研修を実際の企業等で体験する制度です。本学では、自主性・創造性を備えた人材形成を目指したキャリア教育の一層の充実を図るため、学部3年生・大学院修士1年を中心に実施。就職活動に入る直前の職業観や就業意識を高める有効な手段として、大いに活用していただいています。

■2011年度主なインターンシップ先

清水建設(株)	名古屋市衛生研究所	(株)名古屋東急ホテル
(株)NTTファシリティーズ	(株)マスプロ電工	(株)東海ラジオ放送
金印(株)	ネットヨタ東名古屋(株)	春日井商工会議所
読売新聞(株)	(株)名古屋三越	春日井市役所



〈インターンシップA〉
社会人として必要な基礎的知識やビジネスマナーを学びます。



〈インターンシップB〉
企業や官公庁等で実際に研修を受け、就業意欲の向上を目指します。

■2010年度開催実績(12月11日開催)

第1部 講演会

「働くとは?」と題して、(株)生方製作所、代表取締役社長の木村重夫氏(1985年度電気[現:電気システム]工学科卒業生)にご講演いただきました。

第2部 卒業生とのグループディスカッション

テーマ「なりたい自分」について参加学生が発表。各学生の思いや希望を聞いたり、アドバイスをもらうことで、自分自身を見つめ直すよい機会となりました。

第3部 何でも相談会

各先輩方より、学生へ「働くこと」や「やりがい」、「就職活動」への不安・疑問についてのアドバイスやご意見をお話いただきました。

社会人のホンネが聞ける

卒業生と 就職を語る会

最近の就職活動は、インターネットに頼りすぎる傾向があります。そこで、志望する業界、企業の先輩方に直接お話を聞くことは、企業・仕事内容の深い理解につながる貴重な機会と捉え、就職活動が本格的に始まる3年生はもちろん、すべての在学学生を対象に、ビジネスの最前線で活躍する卒業生との交流会を実施しています。学生の働くことへの漠然とした不安や疑問を解決する上でも重要な役割を担っています。

幸友会就職ナビ

幸友会会員企業だけの就職サイト「幸友会就職ナビ」は、中部大学の学生と幸友会企業を結ぶネットワーク。企業の概要等を確認後、そのままエントリーできます。



企業ガイド

中部大学と幸友会会員企業様との太い絆で結ばれた心強い情報誌。在学生には、就職活動時の企業研究をはじめ、大いに活用してほしい一冊です。



学生にも心強いネットワーク

中部大学幸友会

中部財界人による後援組織「中部大学幸友会」の存在は、学生にとっても心強い味方です。幸友会は、さまざまな分野の企業が参加している支援機関で、その法人会員数は約770社を数えます。その多くの企業に、毎年2月に実施する「学内企業説明会」にご参加いただくことで、卒業生の多くが会員企業に就職を決めています。2010年度は、191社217人が幸友会会員企業へ就職し、卒業生全体の17.1%を占めました。

授業後に受講できる便利さが魅力

資格取得対策・ 公務員試験対策講座

キャリアセンターでは、積極的に視野を広げ新たな知識を吸収し、各自のキャリアアップにつなげようとする学生と公務員を目指す学生のため、大学内で受講できる資格取得対策・公務員試験対策講座を開講しています。後援会が受講料の一部を補助しているため、一般の資格専門学校よりも格安で受講できます。また、講義は多くの合格者を輩出した実績のある講師が担当。講義もわかりやすく、相談にも親身に応じます。

■受講までの流れ

1 ガイダンスに参加

講座担当の講師が出席し、講座内容や検定試験の状況などを説明します。

2 講座申し込み

受付期間中にキャリアセンターで申込みます。授業や部活動などと日程調整の上、申し込んでください。

3 講座開講

講座初日にテキストをお渡しします。講義室は、あらかじめ各自で確認しておきます。

4 資格検定の申し込み(資格取得対策講座のみ)

講座内で検定申し込み方法についてご説明します。検定料は講座料とは別料金ですのでご注意ください。

実施率の高い筆記試験対策

就職筆記試験 対策講座

多くの企業ではよりよい人材を採用するための選抜方法として、まず筆記試験である程度人数を絞り込む方法を取っています。特に大手人気企業になればなるほど膨大な応募者への対応から、その傾向は強いと言えます。本学の講座は、就職試験で採用率が高いSPI・GABの「能力検査」の対策に特に重点をおいて授業を進めます。本講座を受講し、早い段階から「現在」の自分自身の実力を測り、筆記試験に対応する力をつけることが大切です。

SPIとは？

約6400社が採用しているリクルートマネジメントソリューションズの筆記試験。

GABとは？

金融業界、商社業界などで採用が多い日本SHL株式会社の筆記試験。

■申込手續について

講座開講時期	8月、12月、3月(予定)
申込受付期間	学科掲示板、キャリアセンターホームページ上でお知らせします。
申込方法	キャリアセンターで申込に必要な資料をお渡しします。
受講料	9,000円(後援会より1,000円補助)

1泊2日の徹底就活対策

就職合宿セミナー

企業説明会、採用試験などが本格化する前に「就職と自分」について考えるとともに、就職活動に対する心構え・知識・マナーを身につけ、自身の進路決定が納得いくものとなるように、毎年夏(8月を予定)に「就職合宿セミナー」を開催しています。採用担当者やOB・OGにもご参加いただく充実の2日間は、面接や履歴書対策など実践的なプログラムも用意。集中してプログラムに取り組むことで、就職活動のポイントを短期間で身につけます。



学部3年生、大学院1年生を対象に
中部大学研修センターで実施しました。

私を動かした原動力

OB's Voice 02



就職先

愛知県警察

ほそかわ のりたか

細川 典孝さん

経営情報学部 経営学科
2010年度卒業

エントリー社数	2社	就職活動開始時期	4年生5月
受験社数	2社	就職活動終了時期	4年生8月

スポーツで培った継続力。
努力で拓ける未来がある。

高校まではラグビー、大学ではラクロスと、スポーツをずっと続けてきたこともあり、体力には自信がありました。体を動かすことも大好きで、その力を人助けに役立てたいと思ったのが、警察官を目指したきっかけです。愛知県警の就職説明会や警察学校の見学会にも参加し、早くから気持ちは固まっていました。しかし、学力に自信のない自分にとって、鬼門だったのは筆記試験です。まず筆記試験をパスしないことには、自分という人間を見てもらうこともできません。ですから、学内の公務員対策講座はもちろんのこと、学外の講座にも通い、必死に筆記試験の勉強をしました。ひたすら勉強漬けの毎日でしたが、そうした努力を続けられたのは、筋力トレーニングなどで培ってきた継続する力によるものだと思います。当初から警察か消防に行きたいと決めていたので、一般企業には一切エントリーしませんでした。その追い込まれた状況も、良い結果を呼びこんだ要因かもしれませんね。

就活中にあなたを支えたものは？

両親の存在です。警察官になりたいという目標を応援してくれて、学外の公務員対策講座の受講料も立て替えてくれました。試験勉強を頑張ってくれたのも、「何としても警察官という立派な仕事に就いて、早く親孝行をしたい」という気持ちが大きかったと思います。

OB's Voice 01



就職先

フジパングループ本社
株式会社

washio masahito

鷲尾 将旭さん

工学部 機械工学科
2010年度卒業

エントリー社数	10社	就職活動開始時期	3年生11月
受験社数	5社	就職活動終了時期	4年生4月

失敗を失敗のまま終わらせない。
あきらめず続けることで夢は近づく。

中学時代からパンづくりが好きだったこと、大学で学んだ機械のこと、どちらも活かせる職に就きたいという思いで就職活動に臨みました。面接では、大学入学時から卒業まで4年間同じアルバイトを続けた経験をアピール。また、人見知りを克服したいという思いからアルバイトの接客では、さまざまな世代の方と接して多くを学んだことも話しました。さらに、学生時代に知り合った企業の方から、面接で知りたいのはその人の考え方だと聞いていたので、単に成功した結果を話すのではなく、プロセスや考え方を伝えることを心掛けました。それでも不安なときは、「自分はこう考えているけど大丈夫かな」と親へ相談したことも。すると「自分がそう思うなら正しいのでは。人生うまくいくことばかりではない。でもあきらめず頑張りなさい」と言われ、受かるまで続けようという気持ちを保つことができました。たとえ試験で落ちても、縁がなかったと気持ちを切り替え、何事も前向きに捉えて活動しました。

就活中にあなたを支えたものは？

工学部でしたので、在学中は実験の授業がありました。そこで実感したのは昔から言う「失敗は成功のもと」。失敗は当然あります。でもそれも経験の一つとして捉え、失敗のまま終わらせずそこから何かを学べばそれも成功になるということ。就職活動もあきらめない気持ちが大切です。

就職を取り巻く厳しい環境は、

学生にとってこれまでにない苦労や挫折を経験する場となるかもしれません。

それでも内定獲得や大学院合格を目指して前に進み続ける原動力は何でしょうか。

先輩たちの体験談から、前向きな就職活動のあり方が見えてきます。

OB's Voice 04



進学先

中部大学大学院
国際人間学研究科 国際関係学専攻1年

なかしま こうしゅう

中島 弘象さん

国際関係学部 国際関係学科
2010年度卒業

研究テーマ

在日外国人子弟の教育問題

OB's Voice 03



就職先

名古屋トヨペット株式会社

ひらつか ゆうと

平塚 由人さん

経営情報学部 経営学科
2010年度卒業

エントリー社数

約20社

就職活動
開始時期

3年生12月

受験社数

5社

就職活動
終了時期

4年生6月

好きなことを深められる贅沢な時間。
人生の糧になる2年間にしたい。

3年生の夏休みに参加したフィリピンへのスタディツアー。これが大学院へ進んだ大きなきっかけでした。その後フィリピンの魅力にひかれて3度足を運ぶことに。日本で当たり前のことがフィリピンではそうではない。決して便利な生活ではなく貧しい人も多い。でも前向きに生きている姿を見て、自分も物事がうまくいかなくても前向きに行こうと思うようになりました。当初はやはり就職かなと思い、友人と同じように就職活動を始めましたが、「2年後に就職すれば悔いは残らないのでは。人より多く時間をもらえたと思って大学院へ行ってみたらどう？」と親からの後押しをもらいました。自分なりに葛藤はありましたが、贅沢な時間をもらえたと思い進学を決めました。フィリピンで出逢った人たちから学んだことが、大学院に進んだ今の自分の糧になっているように、今後の人生のなかで、この2年間があったからこそ進んでいけると思っていたい。そんな人生の糧になる2年間にしたいですね。

大学院試験に必要なことは？

英語の勉強はもちろん必要ですが、研究テーマをしっかりと決めて、学部学科で学んだことと研究テーマを結びつけて説明できることが面接では大切です。知識はそう多くはありませんが、フィリピンへの想いは人一倍ありました。その想いを持って勉強していきたいと強く思っていました。

厳しい環境こそ成長できると信じて。
同じ境遇の仲間とともに。

自分が本当にやりたくて、長く続けられる仕事は何だろう。その答えが車の営業だと明確になったのは、実は4年生の4月でした。両親からは「今のような不況の時は大変だよ」と何度も言われました。でも「お前は営業が一番合っている」とも言ってくれました。状況は違いますが、野球部でも厳しい環境の中で続けてきた自負がありましたし、厳しいと言われれば言われるほど燃える性格。最初に厳しさの中で苦労すれば、それは自分の力になっていくし、成長できるという気持ちがありました。それでも、受けていた企業の不合格がわかり残り1社になったときは、春採用は駄目かもしれないと、正直不安な気持ちが頭をよぎりました。でも面接では、そういったマイナスの気持ちが出ないように元気良く話すことを常に心掛けました。就職活動に臨む前にできる限りの準備をしておくことは重要ですが、気持ちの面も大切。活動が長期になると気持ちも減入りますので、不安な気持ちをわかりあえる仲間も大切です。

就活中にあなたを支えたものは？

両親や仲間など、周りの人の存在が大きかったですね。その都度、就活中の情報を交換したり、辛い気持ちを共有したりと、仲間がそばにいたことは支えました。部活動、ゼミ、高校時代の友人など、同じ境遇にいるからこそ、励まし合えたり一緒に頑張れたと思います。

クラブ&サークル

文化系、運動系、ボランティア系など、計60以上のクラブ・サークルが日々積極的に活動している中部大学。友情、チームワーク、責任感、忍耐力など、活動を通して得られるものは計りしれません。ここでは、平成22年度「課外活動表彰授賞式」で表彰されたサークルを含めた5つのサークルの活動内容をご紹介します。



2010年度の「クラブ・サークルブログ表彰式」が今年も2月におこなわれました。投稿数やコメント数が評価され、トライアスロン部が最優秀賞を受賞。また、優秀賞にはアングリング部と中部大学祭実行委員会が、奨励賞にはローンテニス部をはじめ、4つのクラブが表彰され、三浦学監が表彰状と副賞を手渡しました。

http://www.chubu-univ.jp/club_circle_blog/

陸上競技部

いまはまだ発展途上。
でも、少しずつ前へ前へ。

一生懸命に、
そして楽しく。

自らの成長が
見える魅力。

ませんでした。土曜日の練習は数年前からはじまったことで、自主練習を数人がはじめたことから、次第にみんなやろうということになり決まったことです。自らが実践して周りに影響を与えた良い結果でした。私たち陸上競技部はまだ成長途中です。でもいつかは少しずつでもみんなが一生懸命頑張つて、全国大会を目指せる部になりたい。そのためには一人ひとりが自覚を持つこと、そして自覚を持つためにも自らが率先して何かを成し遂げていくことが大事だと思います。そうして周りから応援されるような部になりたいですね。



〈主将〉
とさき ようすけ
戸崎 暢介 さん(中央)
工学部 機械工学科3年

〈主務〉
こんどう たくや
近藤 拓弥 さん(左)
工学部 電気システム工学科3年

〈副主将〉
よねざわ しゅん
米澤 駿 さん(右)
人文学部 心理学科3年

私たち陸上競技部のモットーは、「一生懸命&楽しく」。真剣に強くなりたい人ももちろんのこと、楽しく陸上をやりたい人も歓迎しています。実は少し前のこと、どちらの方向性で行くかについて部内でもめたことがあり、楽しくやりたいと思っていた仲間が辞めてしまうということがありました。大学の部活動は、高校のように強制はできませんし、ある程度自由な部分があるのも確かです。そういう中で主将としてまとめていく難しさを改めて学びました。ただ、そんな時でも一緒に話し合える仲間がそばにいたこと、これは正しいのか、間違っているのかと意見を聞きながら考えられたことにはとても感謝しています。



相手チームの状況が勝ち負けの大きな要因になる野球やサッカーなどのチームスポーツとは違い、陸上競技は、自分の責任による



ところが大きいのが特徴です。また、勝ち負けだけでなく、決して強くなっても少しずつ成長していく実感を持つ「タイム」という要素があるのが魅力です。さらに、他大学などで同じ種目で頑張っているライバルがいると、一人で練習していても自分を奮い立たせる原動力になったりします。負ければ悔しくて、次こそはと思つて張り、大会で記録が伸びればまた次も頑張れる。陸上にはいつまでも続いている魅力がたくさんあります。

いつかは全国を
目指せる部に。

現在の練習日は週6日ですが、以前はたくさん練習をする部ではあり



ローンテニス部

(部員数 25名)



切磋琢磨して部全体の実力アップを。目指すは3部リーグ昇格。

大学での部活運営は、自分たちで練習や雰囲気をつくっていくため大変な面もありますが、積極性、自主性、責任感などが養われたと思います。またコートのお入りときは、必ず礼をするなどオンとオフのメリハリ、礼儀も身につきました。今年からは新コーチの指導もあり、よい緊張感の中で練習をしています。いまは6月の東海大学対抗テニスリーグ戦に向けて実践的な練習の真っ最中。昨年の同じ大会で4部優勝を果たしたのですが、3部4位の浜松医科大学とのリーグ入れ替え戦で負けてしまいました。ですから今年の目標は3部昇格。テニスはメンタル面が重要と言われますから、練習試合を重ねたり、積極的に大会に出場するなど、実践的な経験をたくさん積むようにしています。部活は楽しむことも大切ですが、やはり勝ち負けがあった上で、そこに笑顔が自然に出ることが望ましい。そして部内で切磋琢磨し合える関係ができれば、部全体の実力アップにもつながっていくと思います。



〈主将〉
やまもと さとし
山本 智士さん(左)
現代教育学部 児童教育学科3年

たまより ひとみ
玉寄 瞳さん(右)
生命健康科学部 保健看護学科3年

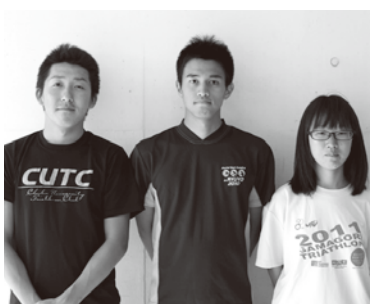
トライアスロン部

(部員数 約20名)



過酷なレースの果てには、感動と達成感が待っている。

トライアスロンは、水泳、自転車、長距離走の3つの競技からなる耐久レース。大学生の私たちは、スイム1.5km、バイク40km、ラン10kmの合計51.5kmで競うオリンピック・ディスタンスの大会に出場しています。「最も過酷なスポーツ」と言われるように非常にハードな競技ですが、その魅力は何といっても完走したときの達成感。途中、何度も苦しい思いをしながら、ついにゴールを迎えたときには感動がこみ上げてきます。またこの競技と出会って気づいたことが、応援による力のすごさ。どんなに苦しくても、競技の途中で沿道から声援を受けると、不思議と力が湧いてくるんです。部員の多くは、陸上部出身や水泳部出身など、3つの競技のいずれかの経験者。練習は週に3回、それぞれの競技の練習を1日ずつ、各競技の経験者が主体的にメニューを決めておこなっています。部は今年で20年目になります。また大会での実績がありませんので、節目の年に私たちがなんとか実績を残したいですね。



〈部長〉
むらまつ たくじ
村松 拓治さん(中央)
工学部 情報工学科3年

〈副部長〉
こざき たかひろ
小崎 貴太さん(左)
工学部 機械工学科3年

〈会計〉
はまだ れみ
濱田 令美さん(右)
生命健康科学部 保健看護学科3年

写真部

〈部員数 約60名〉



部室に“暗室”を完備。
フィルム写真を思う存分楽しめます。

部室に暗室が完備されていることが、私たち写真部の売りです。新入部員は、先輩からフィルムの現像の方法を教わります。フィルムの魅力は、現像するまで仕上がりがわからないこと。失敗するともありますが、それもフィルムの味わい。なかにはデジタルから写真を始めた人がフィルムの虜になるほどです。撮影は個人としての活動が中心になるため、週に一度はみんなで集まって作品を見せ合ったり、おすすめ撮影スポットを共有したりしています。今の目標は、部としての活動を増やしていくこと。団体行動をして同じ場所で撮影するのではなく、部員それぞれが好きな場所で撮ったみんなの写真をどうしていかを模索中です。最近では部外の人から声をかけていただき、人のつながりや広がりが増えてきました。春日井市民展への出品、2泊3日の合宿、他大学との合同展示会などイベントも多彩です。カメラは一生続けられる趣味。卒業後もみんな続けていくと思います。



〈部長〉
さとう ゆづき
佐藤 祐月さん(中央)
現代教育学部 幼児教育学科3年

〈副部長〉
おかじま たつや
岡島 達也さん(左)
応用生物学部 環境生物学科3年

〈会計〉
にしむら ゆうすけ
西村 佑輔さん(右)
人文学部 日本語日本文化学科2年

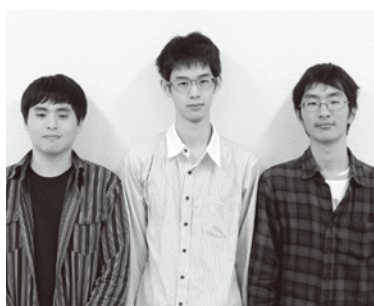
鉄道研究会

〈部員数 約15名〉



さまざまな趣向の鉄道好きが集まることで、
新たな鉄道の魅力を発見。

私たち鉄道研究会は、鉄道好きという共通項で集まっているサークルですが、実は興味の対象は人それぞれ。新幹線が好きな人がいれば、私鉄が好きな人もいて、貨物列車好きもいる。また楽しみ方も、鉄道模型をつくったり、鉄道の写真を撮ったり、鉄道に乗って旅行に出かけたりなど多岐にわたります。そういった違うタイプの鉄道好きが集まることで、自分の知らない鉄道の魅力や楽しみ方を発見できるのが、このサークルの醍醐味です。活動は、5月に丸栄百貨店でおこなわれる鉄道模型展への参加、春休みと夏休みにおこなう合宿旅行などが主な年間行事。丸栄の鉄道模型展には、他大学の鉄道研究会も参加していますが、鉄道の話ですぐに意気投合します。相手が鉄道好きならば、心を通わせて熱く語り合えるのが私たち鉄道研究会です。今後は、普段からみんなで撮影や旅行に出かける機会を増やし、今まで以上に鉄道の魅力を共有していきたいと考えています。



〈部長〉
ましき ともひろ
牧 友洋さん(中央)
工学部 電気システム工学科2年

〈副部長〉
やすい かずき
安井 和樹さん(左)
応用生物学部 応用生物化学科2年

〈会計〉
むらかみ ゆきひろ
村上 幸弘さん(右)
工学部 電気システム工学科2年

保護者の皆さまへ

ちょっと 就活 アドバイス

お子様の就職活動には、“干渉”ではなく“関心”を。
そして、もう大人だからとまかせっきりにせず、一つの
モデルとしてご自身の経験を語ってあげてください。
ここでは、就活中のお子様とのコミュニケーションに
おけるお役立ちキーワードをご紹介します。

NGワード

×「そんな会社知らないぞ。大丈夫なのか？」

お子様の企業選択に対して頭から否定しないことが大切です。お子様がよく調べた上で選んだ会社であればなおさらです。多くの情報を集めて、的確に判断し、理解することが大切です。

×「いい会社がないなら就職浪人して来年再チャレンジすれば？」

就職意識の低下につながる一言です。また、翌年には自分たちの先輩も就職活動のステージに上がり、さらに競争は激しくなりかねません。「新卒」こそ最大のチャンスと捉え応援してください。

×「お友達は内定もらっているんでしょ？」

学生の成長時期はそれぞれ異なります。就職活動を通じて成長する面もあり、社会に出る直前に考え方が変わり内定が出ることもあります。内定時期が違うことを踏まえて腰を据えてください。

×「もう大人なんだから就職くらい自分で決めなさい」

相談する時は、解決策を求めているのではなく、話を聞いてもらいたいだけの場合もあります。もし悩んでいる時は、お子様の気持ちに寄り添い、人生の先輩としてのアドバイスをお願いします。

やっぱり気になる…

2010年度の主な就職先

工学部

積水ハウス(株)中部リクルート室/新生テクノス(株)/シーキューブ(株)/㈱イーエック/高砂熱学工業(株)名古屋支店/㈱NTTファシリティアーズ東海/名工建設(株)/大成ロテック(株)/清水建設(株)名古屋支店/矢作建設工業(株)/鉄建建設(株)/戸田建設(株)/岐阜プラスチック工業(株)/日本トムソン(株)/ヤマザキマザック(株)/旭サナック(株)/アドバンス電気工業(株)/日亜化学工業(株)/㈱稲葉製作所/㈱ユニバンス/アイシン・エイ・ダブリュ(株)/フジパルグループ本社(株)/㈱ニデック/新日本製鐵(株)名古屋製鐵所/住友電装(株)/愛知電機(株)/日東工業(株)/山洋電気(株)/㈱ダイド・電子/㈱TYK/三菱電機エンジニアリング(株)/㈱カナデン/㈱中電シーティーアイ/ソフトウエア興業(株)/ニフティ(株)/中部電力(株)

経営情報学部

中電配電サポート(株)/日東コンロー(株)/大和冷機工業(株)大阪本社/湯浅糸道工業(株)/㈱フードケミファ/ファイナンシャル(株)/㈱三五/㈱松本義肢製作所/新日本製鐵(株)/愛知電機(株)/ダノンロップタイヤ(株)中部/ダイキン空調東海(株)/㈱大塚商会/中部薬品(株)/㈱スギ薬局/㈱パロー/㈱ギガス/愛知スズキ販売(株)/トヨタカラー愛知(株)/ネットヨタ名古屋(株)/トヨタカラー名古屋(株)/㈱レッドパロン/名古屋トヨペット(株)/藤久(株)/㈱清水屋/丸八証券(株)/北伊勢上野信用金庫/いちい信用金庫/瀬戸信用金庫/東春信用金庫/尾張中央農業協同組合/鈴鹿農業協同組合/㈱トヨタデジタルクルーズ/トヨタ情報システム愛知(株)/㈱システムリサーチ/リコーテクノシステムズ(株)

応用生物学部

菊水化学工業(株)/フジパルグループ本社(株)/日本フード(株)/日新蜂蜜(株)/井村屋グループ(株)/有楽製菓(株)/㈱カネエフーズ/吉村穀粉(株)/㈱鎌倉ハム/明治チューインガム(株)/マルサンアイ(株)/丸信製粉(株)/日進乳業(株)/ブライムデリカ(株)/桂新堂(株)/内堀醸造(株)/㈱オリエンタル/㈱ミヤランチサービス/㈱マルト神戸屋/㈱真誠/アオイ化学工業(株)/㈱近藤紡績/ビジョン(株)/フルハシEPO(株)/中北薬品(株)/ハヤシ化成(株)/㈱スズケン/理科研(株)東京支店/阪和興業(株)/ユニオン商事(株)/東海デキストリン(株)/トヨハシ種苗(株)/㈱パロー/マックスバリュ(株)中部/㈱リカーマウンテン/㈱フィールコーポレーション/スーパーサンシ(株)/伊勢農業協同組合/JA松本ハイランド農業共同組合

国際関係学部

タマホーム(株)/㈱プリンスバック/㈱川本製作所/ベルエアーシステムズ(株)/㈱ジェイビシー/㈱足立ライト工業所/㈱大日蓮出版/㈱タクマ食品/㈱鎌倉ハム/㈱ロック・フィールド/日本コンクリート(株)/㈱隣達堂/中北薬品(株)/東海物産(株)/中西電機工業(株)/丸井産業(株)/タキゲン製造(株)/大三鋼機(株)/TOTO中部販売(株)/㈱名古屋花き卸売市場/㈱スギ薬局/中部国際空港旅客サービス(株)/アジアル/㈱柿安本店/㈱パロー/㈱クロスカンパニー/瀬戸信用金庫/東濃信用金庫/住友生命保険相互会社大阪すみれい営業部/㈱バイオ/㈱朝日サポートセンター/㈱サニックス/㈱パソナ/㈱トヨタエンタプライズ/㈱半田水園/学校法人中部大学/㈱ルネサンス/㈱F.L.C

生命健康科学部

あいち小児保健医療総合センター/トヨタ自動車(株)トヨタ記念病院/愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院/ (医)大雄会 総合大雄会病院/一宮市立市民病院/岡崎市立岡崎市民病院/学校法人愛知医科大学 愛知医科大学病院/学校法人昭和大学 昭和大学附属病院グループ/学校法人大阪医科大学 大阪医科大学附属病院/学校法人東京女子医科大学 東京女子医科大学病院/学校法人藤田学園 藤田保健衛生大学病院/㈱ファルコバイオシステムズ/刈谷豊田総合病院/岐阜県厚生農業協同組合連合会 西美濃厚生病院/公立大学法人名古屋市立大学 名古屋市立大学病院/公立陶生病院組合/国立大学法人 浜松医科大学医学部附属病院

人文学部

トヨタ車体(株)/木野瀬印刷(株)/㈱真誠/大岡技研(株)/㈱ダイド・電子/マズロ電工(株)/石塚硝子(株)/㈱カーチスホールディングス/㈱カーク/ユニオン商事(株)/㈱ディリーヤマザキ/㈱ファミリーマートfc本部/㈱パロー/㈱アオキスーパー/㈱カネエエ/中部ベジコーラ販売(株)/上新電気(株)/㈱エディオン EASTカンパニー/㈱キガス/名古屋トヨペット(株)/日産プリンス名古屋販売(株)/㈱ユニクロ/東濃信用金庫/岐阜信用金庫/瀬戸信用金庫/明治安田生命保険相互会社/旭情報サービス(株)中部支社/㈱光通信/㈱パソナ/㈱ワールドストアパートナーズ/㈱ティア/リゾートラスト(株)/富山第一高等学校/岐阜県立加茂特別支援学校/学校法人中部大学/㈱アピバ/総合警備保障(株)

2010.7-2011.6 YEAR ALBUM

さまざまなイベントをピックアップしてご紹介。
躍動する中部大学をぜひご覧ください。

10/13

自分たちの手で美しく 第11回 学内清掃キャンペーン

学生ボランティア団体C.U.P.(Clean Up Project in Chubu Univ)によっておこなわれた「第11回学内清掃キャンペーン」。20号館前に集まった約250人の学生・教職員は、受付で清掃道具を受け取り、約1時間かけてキャンパス内の各所を清掃しました。



9/1~7

研究シーズを万博で発表 上海万博 「中部大学週」

史上最大級の規模で開催された上海万博。その会場内の「DEVNET国際交流館」において「中部大学週」を開催し、16人の学生と51人の教職員が参加。日本の大学としては初めての万博単独出展となりました。DEVNET(国際情報発展組織)は国連傘下の機関の一つで、発展途上国および先進国と発展途上国における貿易・技術・経済協力を推進することを目的とした機関。中部大学週では、研究シーズを発表したほか、本学と学術交流協定を結んだ4カ国9大学とのパネル討論会や国際シンポジウムも開催されました。



8/2

優れた教育活動を表彰 2009年度 中部大学教育活動 顕彰授賞式

2008年に始まった新たな「教育活動顕彰制度」のもと、2009年度の教育活動優秀賞12人、教育活動特別賞2組織(生命医科学科 臨床検査技師教育委員会/保健看護学科)が決定しました。授賞式には、山下興亜学長をはじめ約60人が出席。学長から受賞者一人ひとりに記念の楯が贈られ、青山後援会長から受賞者の先生方に教育活動振興支援費が贈呈されました。



10/29~31

学生主体の年間最大イベント 第47回中部大学祭

2010年の大学祭は、「PUZZLE~一人ひとりがピース」をテーマに開催。台風直撃の予報で開催が危ぶまれましたが、3日間を通して、学科などによる研究発表展、有志による企画やステージ発表、模擬店のほか、多彩な催しがあり、大勢の来場者で賑わいました。



12/1

優れた活躍を称えて 平成22年度 課外活動表彰授賞式

1年間で功績をあげたクラブ、努力したクラブなどに大学が賞を授与する課外活動表彰。5団体と個人14人に奨励賞、3団体と個人3人に努力賞、個人2人に功労賞が授与され、東海学生ハンドボールリーグ戦で30回目の優勝を果たしたハンドボール部が特別表彰されました。



ハンドボール部が特別表彰されました。



11/14

家庭と大学との交流の場 父母との集い

保護者の皆様と大学との関係を密にするため年に一度開催している「父母との集い」。今年は、中部大会会場のほか、浜松、金沢、岐阜、高松、四日市、松本の全国6会場でおこなわれました。大会会場では、学長や学生部長、キャリアセンター長が大学の近況を報告した後、学部(学科)説明会も開催。また希望された保護者の方は、単位や講義、課外活動、就職など、大学生生活全般について直接相談し、情報を収集していました。



11/6

歌を合唱し決意表明 保健看護学科 「立志会」

生命健康科学部保健看護学科の4年生が卒業研究、看護師の国家試験および就職の準備など、今後の課題に取り組むために、学生自身の決意と自覚を鼓舞する目的で開催している「立志会」。男子学生16人を含む4年生104人と保護者97人、3年生の後輩や臨地実習先の施設関係者の方々が出席しました。舞台上では、ナイチンゲール像から一人ひとりにろうそくの灯が分け与えられ、学生全員で今後の決意表明をおこないました。



1/8

音楽系クラブが一堂に集結 第7回中部大学音楽祭

今年の音楽祭は、年明けに名古屋市公会堂で初の開催。オープニングでチアリーダー部が会場を盛り上げた後、混声合唱団、マンドリンクラブ、ナチュラルサウンズ・ジャズ・オーケストラ、シンフォニックバンド、管弦楽団が日頃の練習の成果を披露。またチケット売上金と当日会場で寄せられた募金は、NHK厚生文化事業団、中日新聞社会事業団に寄付されました。



今年も寸劇風の掛け合いを取り入れて観客を沸かせた管弦楽団。



ディズニーアニメでお馴染みの「美女と野獣」をメドレーで披露したシンフォニックバンド。



軽快で迫力のある演奏を披露したナチュラルサウンズ・ジャズ・オーケストラ。



美しく深みのある音色で心を癒したマンドリンクラブの演奏。



訪れた聴衆を美しいハーモニーで魅了した混声合唱団。

1/27

57名の成果を表彰 平成22年度 学長表彰の会

勉強や研究、社会貢献などさまざまな分野で業績を上げた学生を表彰する「学長表彰の会」。今年度は33件57人の学生が表彰され、学長から受賞者一人ひとりに表彰状と記念品が手渡されました。



1/14

海外留学生も振袖を披露 平成22年度 成人を祝う会

毎年恒例の「成人を祝う会」が、三浦幸平メモリアルホールで開催されました。今年、本学で成人を迎えた学生は2,478人で、そのうち約400人の学生が会に参加。本学OBでアートディレクターの水谷孝次氏による「MERRYなコミュニケーション」と題した講演がおこなわれ、終了後には会場の外でおしるこが振る舞われました。



2/14~16、23~25

約730社の企業が参加 学内企業説明会

3年生を主な対象とした学内企業説明会が、今年も6日間にわたって開催。開催前から会場の外には長い列ができ、開催中にも説明を聞く学生で人垣ができる企業ブースが数多く見られるなど、例年以上に学生たちの熱心な様子が目立ちました。



メモをとりながら人事担当者の話に聞き入る学生たち。



6日間でのべ6,866名の学生が参加しました。

3/23~4/30

被災地へ向けて、大学にできる支援 キャンパス内で東日本大震災 義援金募金活動

中部大学ボランティア・NPOセンターの学生が中心となり、東日本大震災被災者支援のための募金活動を実施。教務部、学生部、キャリアセンター、図書館、国際交流センター、丸善、総務部、管財部、学務部、各学部事務室など学内各所に募金箱を設置したほか、授業日には学生たちが募金箱を持って第1学生ホール前で支援を呼びかけました。その結果、1,238,740円もの義援金が集まり、全額を中日新聞社を通じて寄付しました。



3/23

1,765名、いざ巣立ち 平成22年度 学位記授与式(卒業式)

今年卒業を迎えた学生は、学部4年生、大学院合わせて1,765人。体育館・講堂で学部の学位記授与式(卒業式)がおこなわれ、三浦幸平メモリアルホールでは大学院の学位記授与式がおこなわれました。式では、山下興亜学長が各学部の代表者に学位記を手渡し、告辞。その後、卒業生代表が謝辞を述べ、最後は全員で校歌を斉唱しました。



7学部29学科の学生による熱い闘い
第9回
全学学科対抗スポーツ大会

毎年恒例の全学学科対抗スポーツ大会が今年も開催され、7学部29学科の学生と教職員合わせて約3,000人が参加しました。競技は、男子リレー(4×100m)、女子リレー(4×50m)、長縄跳び、Tug of War Sport(綱引き)、アジャタ競技(玉入れ)の5種目によっておこなわれ、見事、スポーツ保健医療学科が総合優勝。競技途中には、シンフォニックバンドによるドリル演奏とチアリーダーによるパフォーマンスもおこなわれ、会場を盛り上げました。また、大会の様子は放送研究会(チューテレ)の学生が中心となってインターネットで生中継。学生たちの熱い闘いを伝えました。



リレー



開会式
(14:00~)



天候にも恵まれたスポーツ大会。学長の挨拶で幕を開けました。

競技
(14:15~)

- リレー [予選]
- 長縄跳び [1回戦]
- Tug of War Sport [1回戦] [2回戦] [3回戦]
- アジャタ競技 [1回戦] [2回戦]

長縄跳び



スポーツ保健医療学科が大会新記録の
126回を達成!

アトラクション
(17:25~)



ダンスパフォーマンスを交えながら、演奏を披露したシンフォニックバンド。

Tug of War Sport



競技
(17:50~)

- 長縄跳び [決勝]
- Tug of War Sport [準決勝] [決勝]
- アジャタ競技 [決勝]
- リレー [決勝]



アクロバティックな演技で、大会に華を添えたチアリーダーたち。

アジャタ競技



表彰式・閉会式
(18:40~)



団結力の勝利です!
 みんなありがとう!

初出場のスポーツ保健医療学科は、各種目での安定感が光りました。

- 優勝** スポーツ保健医療学科
- 2位 機械工学科
- 3位 理学療法学科

現代教育学部



- 幼児教育学科
- 児童教育学科

生命健康科学部



- 生命医科学科
- 保健看護学科
- 理学療法学科
- 作業療法学科
- 臨床工学科
- スポーツ保健医療学科

応用生物学部



- 応用生物化学科
- 環境生物科学科
- 食品栄養科学科

学部 紹介

現代社会のテーマを網羅する文理融合型の総合大学。本学は今春から新たに2学科を開設し、7学部29学科を展開しています。ここでは学部の概要と合わせて、学部ごとの新しいニュースをピックアップ。1学部につき一つゼミもご紹介します。

人文学部



- 日本語日本文化学科
- 英語英米文化学科
- コミュニケーション学科
- 心理学科
- 歴史地理学科

工学部



- 機械工学科
- 電気システム工学科
- 電子情報工学科
- 都市建設工学科
- 建築学科
- 応用化学科
- 情報工学科

経営情報学部



- 経営情報学科
- 経営学科
- 経営会計学科

国際関係学部



- 国際関係学科
- 国際文化学科
- 中国語中国関係学科

工学部

グローバル化した高度技術化社会の先頭に立つ「あてになる」技術者を育成します。

グローバル化したフロントランナー時代の現在、新たなニーズを生み出し社会をリードする技術者が求められています。工学部では、このような時代の先頭に立ち、社会からあてにされる技術者を育成することを目指しています。創造的実践能力を身につけるための具体的な学習・教育目標を設定し、それを達成することによって自らの道を切り開き、これからの実社会で大いに活躍できるように徹底的にサポートしています。その教育の特色は、①体験学習による「ものづくり」に対するデザイン能力、②社会環境の変化に対応できる工学基礎知識、③チームで仕事をするためのコミュニケーション能力、④個の人間形成に必要な教養、⑤高度化、複雑化社会に対応する総合的視野の育成であり、これらを達成するための豊富な教育プログラムを用意しています。



新しく学部長に就任した松尾直規先生からメッセージ。

多くの物と情報が国や文化の壁を越えて世界中を自由に往来している今日、本学部では、地域に根ざしながらも世界中に通用する「あてになる技術者」の育成を目指しています。具体的には、人間力を備えた柔軟な発想と広い視野から物事を考える力や、自らのアイデアをデザインし具体化する実行力を養う教育をおこなっています。

Pick Up ゼミ 〈電気システム工学科〉 中村 圭二ゼミ

研究テーマ

マイクロ・ナノ材料プロセス用
先進プラズマ技術に関する研究

マイクロ・ナノ材料を応用した様々なデバイスの製造に不可欠な微細加工や機能性薄膜形成等のプロセス技術を高度化するため、先進的なプラズマ技術の研究に取り組んでいます。



経営情報学部

これからの 情報化社会で活躍する 多彩な人材を 育成しています。

スマートフォンやインターネットの普及に象徴されるように、進歩のペースを速める情報化の波は、私たちの日常生活やビジネス活動のあり方を大きく変えつつあります。この情報化のうねりの中、ビジネス活動の場では、次の3つのタイプの人材が今後ますます求められます。「経営のわかる情報スペシャリスト人材」「情報技術のわかるビジネスリーダー人材」「経営のわかる会計スペシャリスト人材」です。これら3つのタイプで真に有能な人材になるためには、ビジネスの現場で実践経験を積みながら絶えず自分の力を磨いていかなければなりません。本学部は、そうした生涯学習・生涯成長の土台となる基本的な能力を身につけ、実社会に出てから大きく成長する人材を世に送り出します。



2011年4月、
経営会計学科が誕生しました。

企業を取り巻く環境は大きく変化しています。新たに誕生した経営会計学科では、企業会計の理論と技術を身につけるとともに、ビジネスに関わる幅広い領域が学べるカリキュラムを整えました。これにより、会計の分かる人材はもちろんのこと、経営の分かる会計専門職、経営と会計の両分野から企業をサポートできる人材を育てます。

Pick Upゼミ

〈経営情報学科〉大島 俊一ゼミ

研究テーマ

高付加価値追求型の オンリーワン企業分析

講義の時の堅物な感じとは異なり、専門的知識はもちろん、小説やマンガにも精通しており、時に厳しく、時に楽しく、私たちの個性を磨いてくれる頼りがいのあるゼミです。



使える語学、 国際的な知識、国際交渉力で 国際化する21世紀の現場に 貢献します。

世界を動かす政治、経済、民族、文化、環境などの諸要因を国家・民族の枠を超えて総合的・包括的・相関的に考察するのが国際関係学です。国際関係学部は3学科で構成され、国際関係学科は政治・経済・法律の知識を学習し、国際文化学科は文化・社会・言語の知識を学習します。中国語中国関係学科は、中国語の運用能力を習得し、中国の歴史、文化、ビジネスについて学びます。国際的な現場で活躍するためには、専門的な「語学力」、世界を複眼的に理解することのできる「国際的な知識」、異なった価値観を持つ人に対し自分の考えを伝え、説得するための「国際的な交渉力」が求められます。国際関係学部では、この3つをバランスよく身につけられるよう徹底サポートしています。



新しく学部長に就任した
和崎春日先生からメッセージ。

27年の歴史がある国際関係学部。文化人類学、地理学、歴史、考古学などを専門とする歴代の先生方が実地調査先で収集した民族資料が集められた「民族資料博物館」が今春オープンいたしました。シルクロード文化圏を中心に世界各地の生活文化資料2,700点を収蔵しています。ぜひ大学へお越しの際はお立ち寄りください。

Pick Upゼミ

〈中国語中国関係学科〉舩山 誠一ゼミ

研究テーマ

日系企業の中国・アジアにおける 経営に関する研究

日本籍に加え中国籍、台湾籍の学生も交じって、中部圏を中心とする日本企業の中国での経営についてお互い教え合いながら勉強しています。中国での現地調査もおこないます。



人文学部

人間と文化に関する 教養と実践的な スキル修得を 目指しています。

人文学は「知」の世界ではとても古い起源を持っています。世の中にある「知」というものは、歴史の動きと密接に結びついて発展してきましたが、20世紀後半から21世紀になって今まで人類が体験しなかったさまざまな現象が現れてきています。そうした中で、人文学は人間のあり方や人間の作り出す価値に密着しているだけに大変重要な学問領域になっています。人文学部は5学科で構成され、目指すところは、現代社会を生きていく上での幅広い教養を学び、自己を確立し、健全な判断力を養い、自己を更新していく能力を養うことにあります。教養と実践的なスキル修得をバランスよく配置して、意欲を持った学生を歓迎し、その期待に応えようと努めています。



学部学科の教育改革を進めています。

今般の東日本大震災と福島原発の事故は、人々の生活様式や、生き方そのものにも再考を迫るものであります。そのようなときに重要なのが、人文学的な教養と、物事を根源から考えることができる能力ではないでしょうか。人文学部が目指す教育目的の一つもそこにあると考えています。

Pick Up ゼミ 〈英語英米文化学科〉 榎田 裕加ゼミ

研究テーマ ことばの不思議を探る

授業はプレゼンテーションとディスカッションが中心。それぞれの個性的なアイデアと疑問を自由に発言し、それらをもとに少しずつ形あるものをつくりだしていきます。



応用生物学部

応用生物学部は、 バイオがテーマ。 「生命、環境、食」の専門家を 養成します。

バイオサイエンス、バイオテクノロジーという言葉で代表される応用生物学の「バイオ」の世界は、追究するほどに無限の広がりを見せ、既存の学問的な枠組みではおさまらないほどに進展しています。そこで中部大学は、「バイオ」そのものにスポットを当て、応用生物学部を創設。基盤バイオと微生物をキーワードに人間の営みに直接アプローチする応用生物化学科と、微生物と植物の機能を活用して豊かな環境づくりをテーマとする環境生物科学科、バイオを基礎として食のプロフェッショナルを目指す食品栄養科学科を設置し、その中に食のエキスパート育成を目指す食品栄養科学専攻と、「バイオ」や「食」に強いポストゲノム時代の栄養士・管理栄養士の育成を目指す管理栄養科学専攻を設置しています。



新しく学部長に就任した
永井和夫先生からメッセージ。

20世紀の後半50年間に、生物科学は爆発的な発展を遂げ、21世紀は「バイオの世紀」とも言われています。生物の機能を基盤とする新しい産業も急速に発展すると予測されています。人類のこの壮大な事業を担っていく科学者、技術者としての責任を、この分野を専攻する学生の皆さんと一緒に果たしていきたいと考えています。

Pick Up ゼミ 〈環境生物科学科〉 上野 薫ゼミ

研究テーマ 野生動植物のハビタット解析、
土壌酸性化メカニズムに関する研究など

毎年、「土岐川・庄内川源流 森の健康診断」という、人工林保全のための官学民協働調査に研究室単位で参加。環境保全の次世代リーダーとしての資質磨きもおこなっています。



生命健康科学部

医学の基礎と 生命科学技術を基盤に、 医科学と医療諸科学を学び 健康に貢献します。

20世紀の科学技術の進展で、人類は利便性と物質的な豊かさを手にした一方、その変化が急速だったため健康・医療上の新たな問題を生み出しています。生命健康科学部は、生命医科学科、保健看護学科、理学療法学科、作業療法学科、臨床工学科、スポーツ保健医療学科の6学科で構成されます。この6分野を一つの学部の中におき、連携させていくことが、21世紀型の健康・医療問題の解決につながっていくと考えられるからです。基礎保健医科学や運動器構造計測学、臨床生理学など“医学の基礎”とともに、“生命科学の基礎”を学部共通科目として学ぶことで、生命と健康に対する的確な問題意識を持ち、健康・医療にかかわるさまざまな専門家との連携を可能にする人材を育成します。



2011年4月、
スポーツ保健医療学科が誕生しました。

健康運動の専門家が強く求められている昨今、スポーツ保健医療学科では、医学・医療の知識を踏まえて、健康の維持増進に役立つ運動プログラムを開発し、安全な実践指導をおこなえる健康スポーツのプロを育てます。また、救急医療の専門職「救急救命士」の養成にも力を注ぎ、国家試験全員受験・全員合格を目指します。

Pick Up ゼミ

〈生命医科学科〉野田 明子ゼミ

研究テーマ

高血圧・心不全・認知障害の
予防に関する研究

健康長寿を目指して、動脈硬化・認知障害を予防するための臨床研究と動物実験に取り組み中。生活習慣病予防に効果的な食事・運動・睡眠の在り方を提供できるよう日々努力しています。



現代教育学部

子ども一人ひとりの 可能性を引き出せる 教育の専門家を 養成します。

いま保育・教育の現場で求められているのは、子ども一人ひとりと向き合い、その可能性を引き出すことができる先生です。子どもたちが多様であるように、先生のパーソナリティーも多様であるべきです。現代教育学部は、先生をめざす学生一人ひとりの個性に合った教育を実践するためのカリキュラムと、総合大学が持つ“知”の財産で、保育・教育現場ですぐれた実践力を発揮できる人材を育成します。また、先生としての実践力を身につけると同時に、何か一つ自分自身の得意分野を持つことを目標とします。それを実現できれば、先生としての活躍の場が広がるだけでなく、子どもたちへの影響力も高めることができるからです。



来春、現代教育学部初の
卒業生を輩出します。

開設以来早いもので4年が経ちます。子どもの願いを読み取り、共に夢を実現できる教育者・保育者になることを目指して、教育・保育を創造的に実践するための理論を修得し、学校、幼稚園、保育所、福祉施設での実習を積み重ね、ボランティア活動にも積極的に取り組むことで確かな実践的指導力も身につけてきました。いよいよ飛び立ちます。

Pick Up ゼミ

〈幼児教育学科〉花井 忠征ゼミ

研究テーマ

幼児の健康・体育・発育発達・
運動発達・運動遊び文化に関する研究

子どもたちが、健やかな心とからだに育ってほしいと願う面々が集って幼児体育を研究しています。幼稚園教諭や保育士、子どもに関わる業種を目指して奮闘中です。



「ボランティア活動を
促進するプログラム」



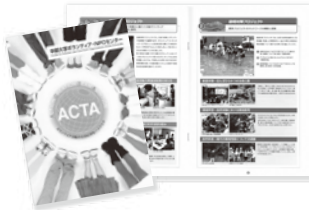
「ボランティア
リーダーの養成」

中部大学ボランティア・NPOセンターは、建学の精神である「不言実行、あてになる人間」を、学生自身が実践し、自立的、自発的に行動できる人材の育成を目指して、「ボランティア活動の促進」と「ボランティアリーダーの養成」をおこなっています。

ボランティア活動を促進するプログラム

告知 (パンフレットの配布)

4月におこなう新生オリエンテーション時に、全学部学科の新生を対象にパンフレットを配布しています。



説明会

ボランティア活動を始める前に、ボランティア・NPOセンターの目標や活動の種類、内容について説明しています。



ボランティア養成研修

リーダーや次期リーダー候補者、積極的に活動したい学生を対象に、春と夏の2回研修を実施しています。



ボランティアリーダーの養成

社会に求められる人材を育成するには、ただ社会貢献をするだけでなく、社会が何を必要としているのか認識することが大切です。より実践的なボランティア活動をおこなうためには、各々の行動特性を分析し、評価する必要があります。そこでコンピテンシー(行動特性)による評価を実施し、個人の行動特性を高め、社会に適應できる人材(社会的企業家)を育成します。

活動の主役は
学生一人ひとり

中部大学

ボランティア・
NPOセンター

活動報告

めまぐるしく変化する社会で求められるのは、ボランティアとして自らが新しい社会へ果敢に踏み出していく力です。中部大学ボランティア・NPOセンターの主役は、学生一人ひとり。学生自らが主体的に考え、行動する地球市民として成長していく姿を今年もご紹介いたします。

Pick Up Event



活動名…こぼと学園におけるボランティア活動
日 時…平成20年6月～現在
場 所…愛知県心身障害者コロニー
こぼと学園

活動内容

インターネットでの動画の見方、文書の書き方など、利用者の希望に合わせたパソコンの補助を、コミュニケーションをとりながらおこなう。毎月2回の頻度で継続的に実施中。

社会福祉プロジェクト

共感的な
「心のバリアフリー」を
目指して

平成23年度は、社会福祉法人 日本介助犬協会の「介助犬フェスタ2011」にスタッフとして参加しました。また、昨年度に引き続き、社会福祉プロジェクトでは、社会の中でさまざまな問題の原因となっている差別や偏見をなくしていくことを目指す「心のバリアフリー」をテーマに掲げ、主に学生と地域の障がい者との交流を通じた活動をおこなっています。プロジェクトの軸である重症心身障害児施設こぼと学園でのパソコンボランティア活動、学内のチャリティーコンサート実行委員会との協働による募金活動のほか、「あかつきまつり2010」「愛知県コロニー祭」の二つのお祭りにもボランティアとして参加しました。

Pick Up Event



活動名…子ども自然体験キャンプ2010
日 時…平成22年8月5日(木)
場 所…春日井市少年自然の家

活動内容

野外でのカレーライスづくりやフィールド散策などにより、子どもたちに自然体験の楽しさを伝えた。事前にアイスブレイクや勉強会をおこなったことで、全体の進行もスムーズだった。

社会教育プロジェクト

体験をすること、を
きっかけに、
ソーシャルスキルの
修得を目指した
教育活動の展開

社会教育プロジェクトは、中部大学や春日井市、中部大学近辺の小学校と連携した教育活動を通して、子どもたちが自己探求心、表現力などのソーシャルスキルを身につけるためのきっかけづくりをおこなっています。近年失われがちな異年齢間の子どものコミュニケーションを、地域と連携して図っていくことで、地域教育の活性化を目指しています。また活動を企画する際に大切にしていることが、誰もが楽しく主体的に参加できる「参加型」であること、互いに学び知識を高め合う「相互型」であること、頭と身体を動かす「体験型」であることの三つです。22年度は、自然体験の経験を活かして子どもたちとコミュニケーションをとる環境教育の実践として、「子ども自然体験キャンプ2010」をおこないました。

Pick Up Event



活動名…ワクチン支援活動
日 時…通年
場 所…春日井市及び春日井近郊

活動内容

発展途上国へのワクチン支援活動につなげる身近な活動として、ペットボトルキャップ回収を実施。学内、春日井市内、また近隣の小中学校などへの訪問回収もおこなった。

国際理解プロジェクト

国際交流の発展と
地域と連携した
国際理解教育の
推進に向けて

飢餓や紛争、環境破壊など、さまざまな問題を抱えている国際社会。これらの世界的な問題を学生が直接的な関わりで解決に導くことは困難ですが、地域で起こっている国際的な問題を解決する可能性があります。国際理解プロジェクトでは、国際交流の発展と地域連携による国際理解教育を推進していくために国際理解活動に関心を深め、その理解力の向上を目指して活動しています。22年度は昨年度に引き続き、ワクチン支援活動に力を入れ、ペットボトルキャップによる支援だけでなく、大学祭でのスूप販売の売り上げをワクチン支援金としてJCV(世界の子どもにワクチンを日本委員会)に寄付。また小中学校へキャップ回収に行った際には、活動の目的を伝え、近隣の子どもたちへの国際理解の普及につなげました。

Pick Up Event



活動名…中部大学 生物大図鑑
in 尾張～東濃

日 時…通年

場 所…モミの木キャンプ場(犬山拠点)ほか

活動内容

多様化する環境問題に対して、自分たちにできることを模索し、自然との共存を目指すため、春日井、犬山、瀬戸の3つの地域にわたって自然調査をおこなった。

環境対策プロジェクト

環境プロジェクトの ネットワーク構築と 多方面からの環境対策

環境対策プロジェクトでは、五感で自然を実感する「自然体験」を通じた学習をおこなう、現代の環境問題について「食農体験」「環境学習」「自然保護」の分野で、環境問題のさまざまな対策に取り組んでいます。また自然を守る活動を展開する地域団体との連携協力を図ることでネットワークを構築し、多方面からの環境対策アプローチをおこなう、環境問題の解決を目指しています。22年度は、春日井、犬山、瀬戸の3つの地域にわたって自然観察をおこなう「中部大学 生物大図鑑 in 尾張～東濃」と、毎年恒例となった「親子田んぼ体験2010」を実施。「田んぼ体験」では、参加者の方から「毎年楽しみにしている」という声をいただくなど、活動を通してできた地域とのつながりを実感できました。

Pick Up Event



活動名…尾張旭市まなぼうさい

日 時…平成23年1月30日(日)

場 所…尾張旭市新池交流館ふらっと

活動内容

子どもたちを対象とした防災意識啓発活動としてワークショップを実施。体験型学習を通して、仲間や家族、そして地域の大切さに気づいてもらうことを目的としておこなった。

災害対策プロジェクト

大規模災害 「東海大地震」に備えた ボランティア ネットワークの構築と その運用

災害対策プロジェクトでは、大学生を中心とした「協力し合い」「助け合い」のための関係づくりを目指しています。特に東海大地震に対する備えをする上で、中部大学ボランティア・NPOセンター内でのプロジェクトや個々のボランティアの自発的な行動を促進しながら、平時より災害に対する情報交換や学習活動を通じて救援活動のスキルの習得や実践的な防災訓練を進めています。23年度は、3月11日に発生した東日本大震災への災害義援金の募金活動を学内でおこない、3月末から4月30日までの間で120万円以上の金額を集めることができました。今後は阪神淡路大震災を学ぶ神戸研修や、救命救急講習、防災講演会などを実施していきます。

Pick Up Event



活動名…春日井市の活性化に向けた
「どっこいせ」普及の取り組み

日 時…通年

場 所…春日井市役所ほか市内全域

活動内容

「どっこいせ」は、第32回春日井まつり(平成20年)で誕生した春日井独自の歌と踊り。新しい文化の創出と地域活性化を目指して、市民団体や企業と協働でまちづくりを推進中。

まちづくりプロジェクト

「市民が積極的に 参加できる社会」を 目指した まちづくりの展開

市民のまちづくりに対する意識が高まり、多くのボランティア・NPO団体が、まちづくり活動に参加するようになってきました。そこでまちづくりプロジェクトでは、国内外の先進的なまちづくりや地域活性化の事例を調査し、ボランティアやNPOによる社会貢献活動について研究。また地域社会のコーディネート力を高め、行政や地域団体との連携を図ることで、地域との結びつきを強化しています。平成23年度は、春日井青年会議所が主催する地域のみらい共創委員会や、春日井市市民活動支援センター運営委員会へ参加しています。また、23年度からの取り組みとして「より地域に根ざした活動」をモットーに、大学近隣のゴミ拾いを実施し、今後も恒例行事としておこなっていきます。

中部大生による産学官協働生物多様性研究成果のCOP10名古屋でのアピール

代表指導担当 応用生物学部 応用生物化学科 愛知 真木子 講師

COP10に併せて開催された、生物多様性をテーマとした国際的な発表・交流展示会である「生物多様性交流フェア」。その会場で、清水建設(株)と本学、愛知県による産学官協働生物多様性研究成果を、国内外に向けて展示説明しました。展示期間中のブース来訪者は、環境省、愛知県、新聞社を含めて5,190名にもものぼり、一般紙、業界紙など新聞各紙で本プロジェクトが紹介されました。産業界や官公庁の方々との相互交流を深めるとともに、他のブース展示を通じて、さまざまな取り組みの成果や課題について学習できるよい機会となりました。



産学官民協働による中部大学周辺の絶滅危惧植物保全活動

代表指導担当 応用生物学部 環境生物科学科 南 基泰 教授

中部大学の周辺には絶滅危惧植物が多く自生しており、それらの保全活動を目的としてはじまったのが本プロジェクトです。22年度は、春日井市西尾町のシデコブシ群落保全のため、他樹木の間伐をおこない、シデコブシの生育、生育地環境の変化をモニタリング。保全林における伐採法の違いが、シデコブシのフェノロジー及び下層植生に及ぼす影響について調査した結果、他伐採区が開花株、枯死株ともに、最も数が多いことがわかりました。今年度はシデコブシの保全調査を継続しつつ、トウカイコモウセンゴケのモニタリング調査をおこなう予定です。



チャレンジ・サイト活動報告

スタート以来、過去最高の12のプロジェクトが採択された22年度のチャレンジ・サイト。

学生が主体となり、意欲的にさまざまな活動に取り組んでいます。

今号は、新たにスタートした6プロジェクトを中心に、その活動内容の一部をご紹介します。

持続学のすすめ、流体シミュレーションによる省エネルギー設計

代表指導担当 工学部 機械工学科 平沢 太郎 准教授

3D CAD/CAEツールを用いて、エネルギー損失を低減する設計や次世代の省エネルギー機器の設計に学生が挑戦する場として立ち上げました。22年度は全体での講習会開催のほか、「省エネルギー型次世代燃焼器の流路設計」「ダクト拡大部のエネルギー損失」など、4つのサブテーマに分かれて設計に取り組みました。学生は2回にわたって開催されたCAE講習会を通じて、数値流体解析手法の基礎を理解し、信頼性の高い解析をおこなうためにはどのようにすればよいかを学び、それを活かした解析と設計ができるようになるまでの成長を見せられました。



CAE講習会にて数値流体解析に取り組む様子

障害者スポーツのすすめ

代表指導担当 生命健康科学部 生命医科学科 伊藤 守弘 准教授

学生が中心となって、障害者スポーツイベント「心をつなごう!スポ・レクチャレンジ2010」を開催することを目的としたプロジェクトです。このイベントでは学生たちが主体となって企画・運営することで、安全面を含めた事業遂行や社会的責任を学ぶとともに、社会人としてのさまざまな考え方を身につけるきっかけにもなりました。またこの課程においてメンバーの2名が、障害者スポーツ指導員の資格を取得。今後は、参加者それぞれの専門性を活かし、前回のイベントで得られた経験や問題点を基に、イベントを企画・実施し、健常者と障害者の共生をすすめていきたいです。



22年度以前から継続して
活動しているチャレンジ・サイト

BDFとDMEの混合燃料を作り、 ジープを走らせよう

代表指導担当 工学部 機械工学科 行本 正雄教授

窒素酸化物とすすの量を同時に減らすことができるクリーン燃料である、BDFとDMEの混合燃料に注目。22年度は、混合燃料を製造後、ジープでの走行実験を実施しました。

全国各地の映像コンクールでの グランプリ獲得作戦

代表指導担当 人文学部 コミュニケーション学科 齋藤 宏保教授

全国各地の映像コンクールにビデオ作品を出品し、グランプリ受賞を目指して活動中。22年度は「全映協グランプリ2010」で、最高賞となる「文部科学大臣賞」を受賞しました。

地産地消にこだわった オリジナル食品の開発に挑戦しよう!

代表指導担当 応用生物学部 食品栄養科学科 根岸 晴夫教授

「低アレルギークッキー」「野崎白菜のレトルトがゆ」「乳酸菌を利用した漬物」の開発に取り組み、「中川区地産地消フェア」では、初のクッキー販売もおこなわれました。

ロボットチャレンジ

代表指導担当 工学部 機械工学科 佐伯 守彦准教授

新型ロボットを開発し、国内外のロボットコンテストや各種大会で上位を目指すことを目的に活動。シンガポールで開催された世界大会では、初めての予選突破を果たしました。

燃料電池小型スタックの製作

代表指導担当 工学部 応用化学科 今枝 健一教授

22年度は、前年度の0.8Vを上回る最大電圧1.2Vのスタック作製に成功。今後はさらなる電圧のアップを目指し、家電製品の作動テストなどもおこなっていく予定です。

中部大生が「伊勢」観光の課題に迫る

代表指導担当 人文学部 歴史地理学科 山元 貴継准教授

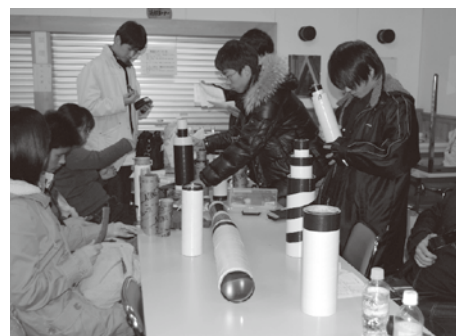
22年度は、伊勢を訪れる観光バスツアーの出発地と参加者の居住地について、ツアー会社に調査を実施。それらの多くは、概ね関西地方で一致していることがわかりました。

星と宇宙のロマンを探る 手作り天体望遠鏡の製作

代表指導担当

工学部 機械工学科 難波 義治教授

本学の超精密加工技術による天体望遠鏡の製作と、その望遠鏡を用いて、星の観測をすることを目指して発足したのが本プロジェクト。初めての活動となった22年度は、天体望遠鏡を製作する前に、まず簡易望遠鏡を製作することで、望遠鏡の構造や仕組みへの理解を深めました。収穫は、ほとんど100円ショップで買える材料で望遠鏡を製作したため、メンバー一人ひとりがつくることができ、構造や仕組みについて全員が学べたこと。今後はオリジナル望遠鏡の製作に着手して、夏と冬にそれぞれ合宿をおこない、流星群の観測に挑戦する予定です。



教師・保育士としての実践的指導力を 育成するフレンドシップ活動

代表指導担当

現代教育学部 幼児教育学科 花井 忠征教授

フレンドシップ活動とは、教員や保育者を目指す学生が参加するボランティア活動です。このプロジェクトでは、フレンドシップ活動を通して、実践的指導力の高い教員・保育者の育成を目指しています。参加学生が主体となって企画し、22年度は全7回の活動をおこないました。その一つであるツリークライミングでは、事前に研修をおこない、ジョン・ギャスライト先生の指導のもと、木の登り方だけでなく、森の中へ入ったときのマナーなどを習得。年間のフレンドシップ活動を通して、知識や経験、実践的指導力の向上につなげることができました。



国際交流

バックアップ



国際交流プログラム

プログラム名	国名	期間	内容
オハイオ大学 長期研修 (初・中級)	アメリカ	4か月	オハイオ大学と学術交流協定を締結して以来30有余年の間に、多くの学生たちが参加した伝統のあるプログラムです。研修時期は、2年次春学期です。英語、専門科目、体育、アメリカ文化体験などの授業を受講します。研修中に修得した単位は、中部大学の単位として認定されます。
ハワイ大学 英語短期研修 (初・中級)	アメリカ	3週間	ハワイ大学マノア校で、英語を短期集中で学習するプログラムです。英語の授業はもちろん、ハワイ大学の学生やホームステイファミリーとの交流を通して、実践的な英語学習ができます。海外渡航が初めてという学生にも参加しやすいように配慮されたプログラムになっています。
CIEオックスフォード 英語短期研修 (初・中級)	イギリス	3週間	英語圏最古の大学として、また世界トップクラスの大学として知られるオックスフォード大学にて英語学習ができるプログラムです。語学学習に加えて、現地学生によるリサーチサポートを受けて、グループ毎に選んだイギリスならではのトピックについて、英語で調査、発表します。
外交学院 中国語短期研修 (初・中級)	中国	4週間	中国北京市にある外交学院で、「現代中国語」の研修だけでなく、同学院日本語学科生との交流や世界遺産である「万里の長城」や「故宮」を見学します。活気あふれる中国の首都、北京での暮らしが体験できます。
グアナフアト大学 スペイン語短期研修 (初・中級)	メキシコ	4週間	メキシコにあるグアナフアト大学語学スクールで、ホームステイをしながらスペイン語(文法・会話・読み書き)のほか、民族舞踊などを学び、また同大学日本語学科生との交流もおこないます。中部大学生専用クラスでの学習となり、学生同士協力しながら言語を学びます。
西洋美術研修	フランス	2週間	西洋文化の中心地であるパリとその近郊を訪ねます。西洋美術・建築の代表的な作品について、春学期に事前講習を受け、現地でも実物を鑑賞します。西洋の文化と芸術のエッセンスに間近で触れることができる研修です。学芸員を目指す学生におすすめのプログラムです。

プログラム名	国名	期間	内容
オハイオ大学 派遣留学 (上級)	アメリカ	2学期間	1年間、オハイオ大生と一緒に専門科目を受講する学部留学となります。中部大学との30年を超える交流の歴史を持ち、留学参加者が世界中で活躍しています。
ウェストバージニア大学 派遣留学 (上級)	アメリカ	1学期間	アメリカ州立大学の中でも規模の大きな総合大学です。カントリーロードの舞台、ウェストバージニアで、同大生と一緒に、専門科目を受講する学部留学になります。
ニューイングランド大学 派遣留学 (上級)	オーストラリア	2学期間	シドニーとブリスベンの中間に位置するアーミデール市にあるニューイングランド大学への1年間の学部留学です。緑豊かで、のどかなキャンパスを持ち、国際色豊かな大学で、同大生とともに学びます。
圓光大学 韓国語・韓国文化 派遣留学(初・中級)	韓国	1学期間	留学生向けの「韓国語(読本、会話、文法作文)のほか、「禪と瞑想」、「習字」、「テコンドー」、「サムルノリ」などを受講します。滞在中は寮で他の留学生や同大生と一緒に生活しながら、幅広い国際交流を体験します。
ハルビン理工大学 中国語・中国文化 派遣留学(初・中級)	中国	1学期間	欧風建築の残る美しい街、黒龍江省ハルビン市にあるハルビン理工大学で、中国語と中国文化を学びます。「中国の映画鑑賞」、「中国の歴史」、「太極拳」などを受講したり、同大の日本語学科生とも交流します。
華東師範大学 派遣留学 (中・上級)	中国	1学期間 もしくは 2学期間	商工業の中心地、上海にある中国でトップレベルの大学の一つである華東師範大学で、中国語に加え、中国人学生や、全世界から来る学生とともに、正規の専門科目を受講します。

オハイオ大学大学院 奨学金留学制度	協定校間の学術交流発展のために設けられたもので、中部大学卒業後、オハイオ大学でMaster(修士)の学位を取得する者に奨学金を支給する制度です。
----------------------	--

長期の留学・研修でも4年間での卒業が可能です。まずは、国際交流センターで情報収集をおすすめします。

※費用については、中部大学HPの「留学・国際交流」→「中部大学 留学・研修ガイド」でご覧いただけます。

海外留学生数全国16位(※)という実績があるほど、国際交流が盛んな中部大学。現在、12カ国20大学・機関と交流しています。国際交流センターでは、できるだけ多くの交流先(協定大学・提携機関)で中部大生が研修・留学できるようにサポートしています。

※「大学ランキング2012年度版(朝日新聞社)」16単位以上の単位互換できる大学

協定校・オハイオ大学認定の
英語プログラム
PASEO



中部大学語学センター専任の外国人講師が担当する、中部大学だけの英語プログラムです。日本語禁止の授業で英語を使いながら、基礎力アップはもちろんのこと、正規留学後、就職後にも通用する実用的な英語を獲得していくことを目標としています。クラスはレベル分けされた少人数クラス制。専任教員や各学期のコース、アクティビティ重視の授業内容は、オハイオ大学から認定を受けています。

■コース例

[パセオアカデミック] 週2回。

英語力に応じたレベルからスタートして、「使える英語」の上級者を目指し訓練をおこないます。

- リスニング／スピーキングコース
- リーディング／ライティングコース

[パセオコンテンツ] 週1回。

自文化・異文化、短編小説創作、児童文学、映画、時事問題など、各教員が選んだテーマについて一学期間学びます。英語を道具として何かを学ぶ機会となっています。

[PASEO] Preparation for Academic Study in English Overseas

Students' Voice

～交換留学生の声～

[留学先] アメリカ(ハワイ)
[プログラム名] ハワイ大学英語短期研修
[期間] 2010年7月～8月



留学で得た 「英語を仕事にする」という目標。

もり だいち
国際関係学部 国際文化学科3年 森 大地さん

去年の夏休みに、約3週間の「ハワイ大学英語短期研修」に参加しました。出発前は、単語帳を肌身離さず持ち歩いたり、洋楽やリスニング教材を聞き、少しでも英語に慣れるように努めていました。現地の留学生は、日本人と韓国人がほとんど。韓国の学生は日本人に比べて積極的でしたが、せっかく英語を勉強しに来ているので、私も負けずに発言しました。ホストファミリーをはじめとする現地の人々は、こちらの拙い英語にもしっかりと耳を傾けてくれて、海を越えた人の温かさに感動。この留学により、将来英語を活かした仕事に就きたいと強く思いました。



[留学先] アメリカ
[プログラム名] ウェストバージニア大学派遣留学
[期間] 2010年8月～12月



学べる喜びと 贅沢感を感じた派遣留学。

すぎやま ゆうた
人文学部 英語英米文化学科4年 杉山 優太さん

今回の派遣留学は、私にとって2度目の留学でした。前は団体での留学でしたが、今回の留学はごく少人数によるもの。授業も自分の好きなものを選ぶことができ、やりたいことを恵まれた環境で学べる喜びと贅沢感を感じました。今までで最も英語を聴く力を必要とし、クラスに参加するだけでも当初は必死でしたが、帰国後に受けたTOEICテストではリスニングセクションで495点満点中475点を獲得でき、全体でも以前に比べて200点以上も点数を上げることができました。私の夢は、言語学研究者になること。その夢を叶えるために成長し続けていくことが今の私の目標です。



親だからこそ

ひと一言

いわせて。



就職氷河期や内定取り消しのニュースが伝えられるなか、不安も多いことと思います。

「父母との集い」に参加されたみなさんのなかにも、お子様の就職や将来に対する心配が垣間見えました。

親だからこそ、いま伝えておきたいこと。

さまざまな思いがありました。

このインタビューは、平成22年度「父母との集い」(2010年11月14日[日])に出席された方からのお話をまとめたものです。ご協力ありがとうございました。
※お名前の上の表記は、取材時のご息子・ご息女の学部学科学年です。

1

工学部
機械工学科
3年生の2両親

山路様

一時的な考えでなく
将来を見据えて
会社を選んど。

今日は大学のことや就職の話聞きにきました。息子が1年生の時から二度目の参加です。全体会では、大学が目指す目標や、学生をどう育成していくのかという教育方針を、前回よりもわかりやすく聞くことができました。子どもは自宅から通っていますから就職の話もします。どんな職種がいいのかと聞いてきたり、スーツが必要だとか、履歴書用の写真を撮っていると、細かなことですが話していますので、遅れずにスタートできているようです。就職は厳しい状況ですが、二時的な考えで会社を選ぶのではなく、将来を考えて自分がやりたいこと、自分の力を活かせる職場を目指してほしい。これでもいいやとあいまいな気持ちでは後悔するだろうし。ただ、そんなことで内定がとれないのも困るし、ある程度の妥協も必要かもしれません。最初だけでも挑戦する気持ちで臨んでほしいですね。上の子どもが就職す

2

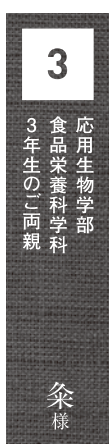
現代教育学部
幼児教育学科
1年生のお母様

桜井様

自ら創意工夫すること
目標に掲げる点に
共感しました。

大学の概要や雰囲気、単位のことなどを知りたくて参加しました。息子は中学生の頃から保育士を目指していますが、私は女性の仕事のイメージから、最初は反対していました。しかし本人の意志は固く、これはあきらめず応援するしかないなど(笑)。私はどの大学が良いかわかりませんが、息子は中部大学がいいと言って受験。でも志望した学部がこんなに新しいとは知りませんでした。もしわかっていたら賛成しなかったかもしれません(笑)。卒業生をまだ輩出してない不安はあります。でも今日面談したことで、実習や

学びの流れ、単位のことなど、今までよりはわかりました。また、やはり男ですから、一生の仕事として考えなくてはならないとも伝えていきます。「わかっているよ」と答えています。徐々に先生や仲間から話を聞いて自覚していつてほしいですね。親から言われるより、同じことでも先生や友人から言われた方が本人にとっては影響力が大きいと思います。面談では、勉強ができればいいというだけでなく、自分で創意工夫することを目標に掲げている点に共感しました。私も仕事をしています。最近、自ら考えて実行することができない若者が多いと感じていました。これからは自立した大人として、思考をもうひとひねりする力を身につけてほしいですね。



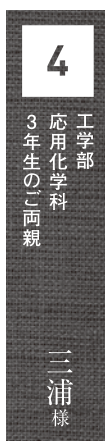
好きなことを

仕事にすることが

良いかはわからない。

上の子が教員を目指していたこともあり、一般的な就職活動の開始時期を知らませんでした。ですから下の娘が

3年生から就職活動を始めていることに、「そんなに早くから？」と驚くとともに、私たちも就職活動について知りたくて参加しました。キャリアセンター課長さんのお話から、それが正しいことを知り、逆に出遅れずスタートできたようでホッとしています。娘が早めに活動しているのも、いま学んでいることを活かしたいという気持ちがあるからだと思います。大学受験の頃から目指す学部があり、目標を持って進んでいるなど感じていました。就きたい仕事があれば早めに活動すべきでしょう。悔いが残らないように活動しているならそれでいいと思います。ただ、本当にやりたいことが明確にわかっているかはわかりませんし、また好きなことを仕事にすることが良いのか悪いのかもわかりません。私もかつて好きなことがあり、その道を目指そうと思いましたが、結果的に違う道に進みました。今考えたときにそれでよかったのかなと思うこともあります。自分の中の新たな発見は、与えられた環境から見つけられる可能性も十分にあるはずですが、親子でこのような話もなかなか照れくさくてできていませんが、機会があれば話したいですね。

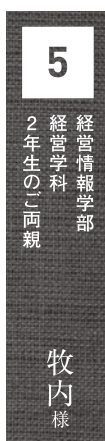


何事にも

もう一歩踏み込む

粘り強さを。

息子が警察官を目指していることから、就職や公務員試験の倍率について詳しく知りたいと思い参加しました。息子とは高校卒業時から将来の進路について話していましたが、選んだ学部が理系ですので、その辺りに若干ずれを感じていました。しかし将来は鑑識になりたいとも話しており、少しは大学での学びが役に立つのではと思っています。今は職種の幅を広げて企業説明会にも参加しているようですので、一般企業の就職活動と同じスタートを切りました。最初から絞る必要もありませんからね。息子へ伝えたいことは、もうひと押しする粘り強さを持つてほしいということ。「人事を尽くして天命を待つ」というところまで頑張ってほしい。言われたことは守り、しっかりと続ける強さはあるので、あと少し自ら考えて何事にももう一歩踏み込んでほしいと思います。



ずっと続けたいと

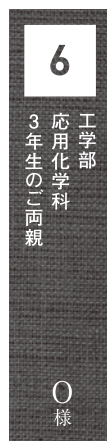
思えることを、

仕事にしてほしい。

娘は現在2年生ですので、来年の今頃には就職活動を始めていると思います。ですから今日は、現在の就職活動の流れや進め方を勉強するために参加しました。全体会では、就職活動について熱心に説明していただけたので、来た甲斐があったと思っています。それと同時に、来年は大丈夫だろうかと心配にもなりました。娘はまだ、こういう仕事をしたいと思えるものが見つかっていません。大学へは岐阜の実家から通っているのですが、就職してからは、一人暮らしをするという選択もあると思います。でも私たちとしては実家から通える方が安心ですので、娘と相談しながら、通える範囲で良い就職先があるかどうかも見たいです。

私は、仕事は好きなことでなくては続けられないものだと考えていますので、娘には、自分の好きなことを仕事にしてみたい。「どうせ結婚したら辞めるから」という考えではなく、結婚し

でも続けたいと思える、自分にとって魅力的な仕事を見つけてほしいと願っています。



卒業後に

きちんと就職するという

王道を歩いてほしい。

子どもが入学した年は、大学の見学がメインで参加しましたが、今回の一番の関心事は就職。ですから全体会の就職説明では具体的な話をもっと聞きたかったというのが本音です。テレビなどで就職できない学生のニュースをよく聞きますが、息子には「自分を安売りするな」と言いたい。ただ、選り好みして就職できなくても困るし、その辺のバランスも大事ですね。気にいった会社がないからとフリーターになってしまったり、親としても困るし、親の願いは、卒業後にきちんと就職するという王道を歩いてほしいということ。また大学には、こういう企業で働くには、こんな資格があった方がいいといったアドバイスもほしいですね。

7 応用生物学部
応用生物化学科
1年生のご両親

久野様

久しぶりに訪れた中部大学。

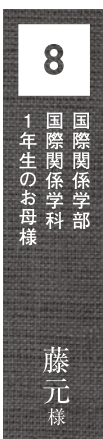
その変貌と進化に

驚きました。

実は私自身も中部大学のOBです。息子が自分と同じ大学に進学して、久しぶりにキャンパスを訪れたのですが、その変貌ぶりには驚きました。私は中部工業大学時代の最後の卒業生。単科大学から総合大学に変わったことで、昔とは学部と学生数も全然違いますね。優秀な教授の方もたくさんいらっしゃるみたいで、今後が楽しみな大学だと思っています。

今年から新しく始まった「初年次教育」と「キャリア教育」のプログラムを、現在息子が受講していますが、とても面白いと言っています。親としては、こういう機会に自分を客観的に見つめて、向き不向きなどを知ってほしいです。ただ、入学してまず、大学での学び方を教わる授業があるのと聞いて驚きました。私たちが学生の頃には考えられなかったことで、今の学生はそんなに受動的なのではないですか(笑)。そういう授業があることは、ある意味安心ではあります。

大学の間でしか、学べないことや経験できないことはたくさんあります。社会に出たら自由な時間は少なくなってしまうから、息子には積極的にいろんな経験をしてほしいです。4年間なんて、あっという間に過ぎてしましますから。息子は小さい頃から研究に興味を持っていて、今の学部にも自分の希望で進みました。秋学期からようやく研究の授業も始まったみたいですし、これからさらに頑張ってもらいたいです。



社会と積極的に

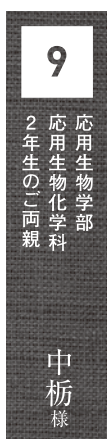
関わりを持つことで、

自分を磨いてほしい。

息子が通う大学へは、なかなか父母が参加する機会がありませんし、大学生にもなってそれが必要なかという葛藤もありました。でも今日『父母との集い』に参加して、やっぱり来てよかったと思っています。大学の方針や、どんなバックアップ体制をとっているかなどがわかりましたので、これからは子どもにも大学について聞きやすくなりました。実家が広島県ですので、『父母との集い』は

広島会場でもよかったのですが、今回は息子に喝を入れるために、敢えてこちらに参加しました(笑)。普段はメールもスルーされますし、報告も良いことしかしてきませんので、今日はこれから数時間じっくり話し合いたいと思います。

もう大学生ですので、息子には、勉強に限らず社会のことや人間関係のことなど、自発的にいろいろな学ぶ姿勢を持つてほしいです。どうもまだ高校生までの甘えが抜けていないように感じます。社会との関わりがたくさん増えれば、文章の書き方一つとっても、プレゼンの仕方一つとっても違ってくると思いますから。せつかく自分の好きなこととやりたいたいが結びついて入った大学ですので、初心を見失わずに頑張ってもらいたい。



就職は不安でしたが、

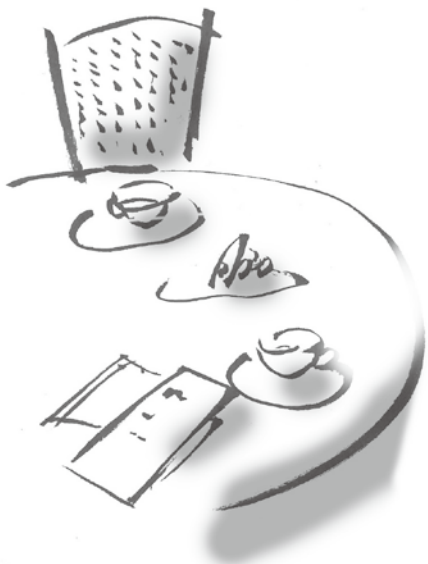
今日はヒントを

もらった気がします。

大学には、以前から一度行ってみたいと思っていました。こういう機会でもないとなかなか来られませんがね。普段、子どもからあまり大学の話はして

きませんので、今日は子どもが学んでいるキャンパスを見ることができて安心しました。

まだ2年生ですが、周りが就職難を大きく取り上げているので、就職活動についてよくわからないまま、不安だけが大きくなっていました。今話を聞いて、大学側の熱心な取り組みがわかりましたので、就職活動のヒントがもらえたと感じています。就職は、結局のところ子どもの問題ではありませんが、親の心構えもできていないといけませんから。まだ学業が忙しい時期に、年々就職活動が早まっているのは可哀想に思いますが…。学内の就職相談が頼りになることもわかりましたので、本人にこれからどんどん利用するように勧めたいと思います。実家が三重県なので、今は下宿していますが、年に2、3回は子どもの下宿先を訪ねてコミュニケーション



をとっています。部活で合気道をやっているようですが、とにかく大学に入ってからには、できるだけ多くのことに触れて、自分の可能性を広げていってほしいですね。

10

工学部
建築学科
1年生のご両親

市川様

大学生の設備や、 長期休暇を有効に使って。

全体会に参加した感想は、教育に対して大変熱い思いを持って取り組んでいる大学だなということ。学長さんのお話にも熱が入っていましたね。また、これだけ広い大学でありながら、とても綺麗に保たれていることに驚きました。しっかりと清掃が行き届いていて、学内を歩くのも気持ちが良いです。

息子とは普段、大学の話はあまりしていませんね。こちらから聞けば話してくれませんが、「今日、昼ごはん何食べたの?」とかその程度の話でしょうか。でも大学の友だちとは仲良くしているようで、結構友だちの名前は教えてくれます。サークルには入っていませんが、元々テニスをしていたので、空き時間に

友だちとテニスをしているようです。遊びだけでなく、大学にはさまざまな設備が整っていると思いますので、それらをうまく利用してほしいですね。

息子が大学に入學して感じたことがもう一つ。長期休暇がとても長いことです。せっかく時間があるのだから、何か有効に使ってほしいなと思います。この前の夏休みに、息子には「何か資格の勉強でもしてみたら?」などと言ったことがあるのですが、なかなか自主的にやるのは難しいようです。大学側から連休中の勉強の指導などをしていただけたらありがたいと思います。

11

工学部
機械工学科
3年生のお母様

小島様

自分の世界だけに捉われず、 視野を広く持ってほしい。

息子は現在3年生。とりあえずリクルートスーツは用意してみたものの、就職活動の流れがよくわかりませんです。ですから今日はそのあたりを詳しく聞きたいと思い、「父母との集い」に参加しました。息子は、小さい頃から機械が好きで機械工学科に入りましたが、現

実的に大変な部分も感じているみたいですが、就職についても、その方面に強い希望があるみたいですが、あまり求人が見えなかったようでショックを受けていました。親としては、この際、ほかの業界も見てほしいという気持ちがあります。本人の意志は固いようです。元々あまり外に出ることが好きで子ではないので、アルバイトもしていませんが、なるべくいろいろなことに挑戦してほしいと思っています。やりたいことがあるのはわかるけれど、もっと視野を広げてほしいというのが私たち親の本音です。

中部大学の印象としては、昔の中部工業大学のイメージがありましたので、学部もたくさん増えて随分変わったなと思います。自然も豊かで開放的ですし、これなら街中の大学とは違って、窮屈な思いはしないと思います。

12

生命健康科学部
生命医科学科
2年生のご両親

新美様

勉強そのものよりも、 勉強の仕方を 学ぶことが重要。

去年も参加しましたが、今年も全体会で大学のことや就職について細かく説



明していただけましたので、現状がよくわかりました。就職率も他の大学に比べて高いみたいですし、頑張ってくれているという印象です。しかし、息子からは一切そういう話がありませんので、できれば親宛ても成績表や就職関係の資料などを、『信頼』と一緒に送っていただけたらありがたいのですが…。

息子はアルバイトに忙しく、大学には必要な単位を取るためだけに行っている感じですが。来年は就職活動も始まりますので、アルバイトもほどほどにして、もう少し大学と関わりを持ってほしいです。息子もできるだけ良い企業に就職したいと考えていると思うのですが、なかなかそのあたりの想いが噛み合いません。私の考えとしては、大学では勉強を学ぶというよりも、勉強の仕方や調べ方を学んでほしいです。社会に出たら、

いくら優秀な人でも、新入社員の時点では即戦力とはいきません。高卒と大卒の違いは、社会に出て壁にぶつかった時に、自分で解決する力があるかどうか。学生のうちに、自分で調べて解決する術を身につけていってほしいです。

13

経営情報学部
経営学科
1年生の二両親

T様

アルバイトは社会勉強。

学業に支障の出ない程度に頑張る。

私たちはこれまで中部大学に来たことがなかったのですが、今日は大学を訪れること自体にも興味があり参加しました。とても広い大学でびっくりしています。全体会では、大学の熱心な取り組みがよくわかりました。学生の主体性が大事にしながら、さまざまなことにチャレンジされている印象です。

息子は自転車サークルに入っていて、先日も8時間自転車耐久レースに出場するなど、学生生活を楽しんでます。サークルでは、活動以外にも勉強のことや大学生活のことなど、先輩からいろいろな情報を教えてもらえるようです。また最近、飲食店でアルバイトを始めま

した。バイトは、人とのコミュニケーションやお金を稼ぐことの大変さを学べるなど、良い社会勉強にもなると思いますので、学業に支障の出ない程度に頑張るってほしいです。

将来はまだ決めかねているようですが、いくつかわりたいことがあると言っていました。これからの大学生活の中で、これだと思えるものを見つけてほしいです。大学生活は、社会に出るまでの最後のステップ。後悔のないように、充実したものにしてほしいですね。

14

人文学部
英語英米文化学科
3年生の二両親

田中様

大学を上手に活用して、就職活動を。

娘は元々、長期留学を希望していました。しかし、留学期間中はこちらの勉強ができなくなってしまうことから、断念して教員の免許取得を目指すことにしました。ただ、教員免許を取るのには、

教師になりたいからというわけではなく、大学4年間で学びの証として何かを残したいという気持ちからのようです。最近介護実習などを行っている

そうで、疲れて帰ってきます。就職活動も始まりまますので、これからがもっと大変になりそう…。

就職については、実はまだ娘と真剣に話し合っていない。本人は英語に関する仕事がいいようですが、今日の話を聞いてみると、英語を使う仕事は本当に力をつけないと厳しいと感じました。しかし、今日私たちに就職の説明をしてくれた4年生の学生は、上手に大学を活用して就職活動を実らせたようでしたので、娘もうまくすすめていってほしいです。今度キャリアアセンターを訪ねるように、早速、娘に話してみようと思います。

15

人文学部
日本語日本文化学科
3年生の二両親

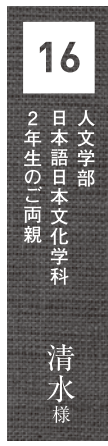
黒田様

大学生のうちに、コミュニケーション能力に磨きを。

息子は元々、公務員を目指していましたが、今は企業への就職に気持ちが傾いているようです。公務員はギリギリまで結果を待って、もし落ちてしまったらあとがありませんので、どちらか一本に絞らないと危険だという認識もあるみ

就職については、今まで新聞やテレビなどで見たたり聞いたりしているような

一人暮らしは心配ですが、
本人にとっては良い勉強。



16

人文学部
日本語日本文化学科
2年生のご両親

清水様

たいです。就職については、結局は本人の問題ですので、親としては何も言うことはありません。ただ今日の話を聞いて、やはり状況は厳しいなという印象を持ちました。近年の就職活動は、本当にしつかりと準備して臨まないと難しいのではないのでしょうか。実は娘も現在就職活動中なのですが、のほほんとしていて息子とは対照的です。息子の方がしつかりしていて、妹に対してだいぶ辛辣なことを言っています(笑)。息子は、自分で何とかしなければならぬという気持ちがあるようですので、信頼しています。しかし、人と話をするのがあまり得意ではありませんので、そこは頑張ってもらいたい。社会に出たら、どんな仕事でも人と関わらずにはいられませんから。大学在学中にも、もう少しコミュニケーション能力を磨いてほしいと思います。

漠然としたことしかわかりませんでした。でも今日、話を聞いたことで具体的にわかった気がしています。息子は、就職についてまだこれといった希望がないようですので、個別面談などで聞いた話を、これから下宿先に持って行って話し合うつもりです。

実は滋賀県のため、長期休暇くらいしか帰ってきません。話をする機会も随分減ってしまい、話題は大抵「ちゃんごと食べているか」とか、こちらから健康面のことを聞くのがほとんどです。一人暮らしについては、親としては心配ではありませんが、本人にとっては良い勉強になると思います。せつかなので、日々の生活の中でいろんな苦労を経験して、一人前に成長して欲しいです。ただ、今日成績表をもらって、息子の授業の出席率が65%しかないのを知って驚きました。話を聞くと、途中で見切りをつけた授業なども含まれているので、特別に問題のある数字ではないとお聞きしましたが、ちゃんと大学に行っているのか心配になりました。できれば私たちのところにも、定期的に大学から出席や単位の情報を送ってほしいです。

ご息子・ご息女の大学生活を知っていただく絶好の機会です。とくに、新入生のご父母の皆さまには参加をおすすめしております。ぜひこの機会にご参加ください。

平成23年度

「父母との集い」ご案内

大学会場 [対象学部] 全学部

11月13日(日) 場所: 中部大学体育館

■プログラム

9:30~	受付
10:00~	全体会 学長あいさつ/学生生活について/就職の活動支援について
11:30~	学内見学・昼食 附属三浦記念図書館、民族資料博物館、茶室など
13:00~	学部(学科)説明会 教育方針等の説明/学科の先生方による個別面談(要申込)

下記場所にて各種相談を受け付けています。13:30~

キャンパスプラザ1F ラウンジ	●学生生活コーナー ●入試相談コーナー(大学院・学部)
キャンパスプラザ2F 国際交流プラザ	●留学相談
9号館	●就職コーナー

地方会場 [対象学部] 全学部

今年は以下の7会場で開催いたします。お申込みの上、お近くの会場へご参加ください。

京都会場	9月24日(土)	京都センチュリーホテル
静岡会場	10月1日(土)	ホテルアソシア静岡
博多会場	10月9日(日)	博多エクセルホテル東急
富山会場	10月15日(土)	名鉄トヤマホテル

松本会場	10月22日(土)	ホテルブエナビスタ
岐阜会場	10月29日(土)	岐阜グランドホテル
四日市会場	11月6日(日)	四日市都ホテル

■プログラム

10:00~	受付
10:30~	全体会
12:00~	昼食
12:50~	個別面談

全体会

大学のバックアップ体制をわかりやすく説明いたします。

学部(学科)説明会

在籍学部・学科の近況をお伝えします。

個別面談

各学科教員や就職担当者が直接お応えいたします。

学内見学

広大なキャンパス内を自由にご見学いただけます。

専用ハガキでお申し込みされていない方は、ご希望の会場・期日を選び、事務局まで至急お申し込みください。

中部大学
後援会事務局

TEL.0568-51-4745

大学会場の開催日は、11月13日(日)です。ご希望会場・日時をお間違えないようお越しください。

震災から 学んだこと、気づいたこと。

学生インタビュー

2011年3月11日、甚大な被害をもたらした東日本大震災。

震災から3ヵ月経った6月、各学部棟で学生に突撃取材を敢行しました。

これから社会へ巣立ち、将来を担う学生は、メディアから流れる映像や言葉、今までに経験のない未曾有の大惨事から何を感じたのでしょうか。

学生の皆さんの想いをお聞きました。

※突然のインタビューにも関わらず、快く書いてくださった学生の皆さん、ご協力ありがとうございました。(「信頼」編集者より)

人と人のつながりを実感することができました。特に海外からの募金や支援活動を報道で見たり、聞いたりして感動しました。また、震災直後の日本人のマナーの良さを知ることもできました。自分たちも震災が突然来たとしても、日本人らしくマナーを守り、やさしさを忘れてはいけないと気づかされました。

人文学部
心理学科3年

伊藤 健太さん

人文学部
心理学科3年

山中 麻美さん

人文学部
心理学科3年

木村 直貴さん



今回起きた東北での震災について、改めて自然の怖さを知りました。私は国際関係学部の学生として、国際に関すること(経済、政治、法学等)を学んでいますが、このような災害の際に自国だけでは対処できない、他国との関係によって日本は再構築されると学びました。今後も国際間の関係を大切にしてほしいと思います。

国際関係学部
国際関係学科3年

秋吉 直樹さん



普段当たり前のように傍にいてくれる人たちの大切さを実感しました。今、この瞬間隣にいてくれる友だち、家族が災害の後、もう一緒に笑うことができなくなるかもしれません。何気ない毎日と一緒にいてくれる人がいることを当たり前だと思わず、一日一日を大切に生きていかなければいけないと改めて感じることができました。

応用生物学部
食品栄養科学科1年

増田 はるかさん



今回の震災から人と人のつながりや支え合いの大切さを学びました。被災地にはなかなか行くことができないけれど、今自分たちにできることを精一杯やり、少しでも被災者の方々の力になりたいと思います。

生命健康科学部
保健看護学科3年

渡辺 光恵さん

生命健康科学部
保健看護学科3年

吉田 聖礼さん

生命健康科学部
保健看護学科3年

水野 亜美さん

東日本大震災から気づくと4カ月あまりが経ちました。未だに支援も全体に行き届いておらず、復興が思うように進んでいないため、一日でも早い復興、復旧を願うばかりです。今、私たち一人ひとりができることは小さなことですが、その一つひとつを精一杯することが、少しでもみんなの力になっていることを望みます。

工学部
電子情報工学科2年

南谷 英之さん



現代教育学部
児童教育学科3年

海川 衿奈さん

現代教育学部
児童教育学科3年

高井 優衣さん

募金活動の様子を見て、人の温かみを感じました。また、自分たちも何かできることがあれば積極的に協力していきたいと思いました。普段の何気ない生活の中でも、いろいろな人に支えられていると感じたので、一日一日を大切にしていきたい。



正直、今回の震災で、いつ東海地震が来るのかとヒヤヒヤした反面、あまり原発に関心がなく、他人事のように考えていた時期もありました。ですが、自分の周りで節電の活動がどんどん広まってい、「僕にも何かできるだろうか」と、ようやく思うようになってきました。今、日本はこれまでにないぐらいの団結力を持って復興に向かっています。僕たち学生にもできることを探して、これからも微力ながら協力していきたい気持ちでいっぱいです。

経営情報学部
経営学科4年

日比野 翼さん

経営情報学部
経営学科4年

海山 幾郎さん

平成23年度 中部大学後援会

役員会・評議員会

報告

平成23年5月21日（土）、キャッスルプラザにて、平成23年度中部大学後援会役員会・評議員会が開催されました。今年も役員、評議員の皆さまには大勢のご出席をいただき、新役員の選任を含むすべての議事を無事進行、終了いたしました。



平成22年度

後援会事業報告・

決算報告

はじめに三浦後援会事務局長が、本会開会の挨拶として、後援会の歴史と役割を述べ、スタートしました。続いて青山会長が挨拶に立たれ、一年間を回顧。中部大学の上海万博への参加、厳しい社会状況下での大学の就職支援、未曾有の大震災などに触れ、国、企業、大学としての方針の重要性、そして後援会の意義について話されました。次に山下学長からは、後援会による大学への多大な支援へのお礼と合わせて、大学の近況報告。ディプロマ戦略室（7ページ参照）の運営状況についての話がありました。

た。その後、事務局から出席状況の報告と本会の成立が宣誓され、慣例により議長に青山会長が選出、各議案の審議へと移りました。

第1号議案、第2号議案では、事務局から平成22年度の事業・決算報告および、小境監査により監査報告がおこなわれ、皆さまのご理解をもって異議なく承認されました。

新役員が決定、 事業・予算案も

無事承認

続いて第3号議案に進み、青山会長、岩田副会長、小境監査の任期終了が報告され、後任の選出がおこなわれました。新会長には、副会長を1年務められた宮田弘氏が就任し、「皆様のご支援を得ながら、大学、後援会の発展に尽力していきたい」とご挨拶されました。その後、2名欠員となった副会長に小澤寿行氏、加藤鉄男氏が選任され、監



新会長・宮田弘氏によるご挨拶。



会長の任期を終えた青山氏へ感謝状と記念品を贈呈。

査には酒井智康氏が推薦され、満場一致で承認。また、顧問には飯吉理事長をはじめとした10名の先生方が委嘱され、同時に欠員にともない幹事・評議員が委嘱されました。

その後、第4号議案「平成23年度事業計画案」、第5号議案「平成23年度予算案」がともに審議され、皆さまの拍手で承認を確認し、すべての議事が終了。最後に、記念事業寄付金の目録贈呈が宮田新会長から山下学長へおこなわれ、山下学長からは、任期を終えられた役員の方々に感謝状と記念品が贈呈され、本年度の後援会役員会・評議員会は無事閉会しました。

平成23年度計画

■平成23年度 事業計画

会員と大学との連絡をはかる事業

1. 会議の開催

- 役員会・評議員会及び懇親会
- 講演会・学内見学会
- 大学の先生方との懇親会

2. 「父母との集い」の開催

開催日	開催地	会場
9月24日(土)	京都	京都センチュリーホテル
10月 1日(土)	静岡	ホテルアソシア静岡
10月 9日(日)	博多	博多エクセルホテル東急
10月15日(土)	富山	名鉄トヤマホテル
10月22日(土)	松本	ホテルブエナビスタ
10月29日(土)	岐阜	岐阜グランドホテル
11月 6日(日)	四日市	四日市都ホテル
11月13日(日)	大学	中部大学体育館

3. 出版事業

- 後援会会報「信頼」の刊行(全会員)

大学への助成

1. 教育・研究への協力

2. 就職活動に対する援助(学内企業説明会)

学生に対する助成

1. 課外教育活動に対する援助

2. チャレンジサイトへの援助

3. 就職活動に対する援助

- ①学内企業説明会
- ②資格取得講座・就職対策試験検定料等の補助
- ③就職支援対策補助

4. 奨学援助

5. 災害見舞金の給付

■平成23年度 予算書

収入の部 単位(円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
前年度繰越金	12,766,586	14,192,471	△1,425,885	
後援会会費	125,800,000	121,650,000	4,150,000	平成23年度新会員 2,516名×@50,000
雑収入	39,256	60,000	△20,744	預金利息
合計	138,605,842	135,902,471	2,703,371	

支出の部 単位(円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
助成金	102,720,000	98,925,000	3,795,000	
記念事業寄付金	12,580,000	12,165,000	415,000	平成23年度新会員 2,516名×@5,000
課外活動援助金	43,110,000	42,180,000	930,000	課外活動援助金、 スポーツ大会援助金、医療費、 NPOボランティア活動援助金
教育・研究協力費	25,160,000	24,330,000	830,000	平成23年度新会員 2,516名×@10,000
就職活動援助金	12,370,000	10,750,000	1,620,000	学内企業説明会、就職支援対策費、 各種講座費用補助、 就職対策検定料補助
学生研究支援金	6,000,000	6,000,000	0	チャレンジサイト協力費
奨学援助金	2,000,000	2,000,000	0	
教育活動振興支援費	1,500,000	1,500,000	0	教育活動顕彰制度に対する援助
事業費	24,000,000	23,200,000	800,000	
地区別後援会費	12,000,000	11,500,000	500,000	「父母との集い」 案内作成費、会場費等
会議費	4,000,000	4,000,000	0	役員会・評議員会、役員懇親会
印刷出版費	7,000,000	6,700,000	300,000	「信頼」作成費等
災害見舞金	1,000,000	1,000,000	0	
事務費	6,762,000	8,172,000	△1,410,000	
通信運搬費	3,890,000	5,200,000	△1,310,000	発送費、ウェブ発送費、切手代等
事務委託費	2,000,000	2,000,000	0	事務担当者委託費
印刷費	250,000	300,000	△50,000	封筒等
消耗品費	300,000	350,000	△50,000	コピー機保守料、事務用品等
旅費	20,000	20,000	0	交通費
租税公課	2,000	2,000	0	印紙代等
雑費	300,000	300,000	0	弔電・供花、振込手数料等
積立金繰入	1,000,000	0	1,000,000	
開学50周年積立金	1,000,000	0	1,000,000	
予備費	1,000,000	1,000,000	0	
次年度繰越金	3,123,842	4,605,471	△1,481,629	
合計	138,605,842	135,902,471	2,703,371	

平成22年度報告

■平成22年度 事業報告

月日	事業概要
[平成22年] 5月 2日	●役員会・評議員会・懇親会(キャッスルプラザ) 平成22年度事業報告・決算報告/役員・評議員改選/平成22年度事業計画予算審議
5月26日	●「学内企業説明会」協賛(中部大学キャリアセンター主催) 参加企業50社/学生参加者数528名(70号館・リサーチセンター)
6月 3日	●平成22年度「父母との集い」案内発行・発送(全会員)
6月30日	●「学内企業説明会」協賛(中部大学キャリアセンター主催) 参加企業90社/学生参加者数698名(三浦幸平メモリアルホール)
7月24日	●役員研修会(キャッスルプラザ)
7月28日	●「学内企業説明会」協賛(中部大学キャリアセンター主催) 参加企業44社/学生参加者数337名(70号館・リサーチセンター)
8月 2日	●2009年度教育活動顕彰授賞式(スチューデントホール) 後援会より教育活動振興支援費として援助(受賞者12名、2組織)
8月 2日	●中部大学後援会会報「信頼」第56号発行・発送(全会員)
9月23日	●「父母との集い」開催 浜松、金沢、岐阜、高松、四日市、松本会場/全体会、個別面談 大学会場/全体会、学内見学、学部(学科)別説明会、個別面談
11月14日	●「学内企業説明会」協賛(中部大学キャリアセンター主催) 参加企業35社/学生参加者数189名(70号館・リサーチセンター)
10月14日	参加企業20社/学生参加者数145名(70号館・リサーチセンター)
[平成23年] 2月16日	●役員懇親会(キャッスルプラザ)
2月14日	●「学内企業説明会」協賛(中部大学キャリアセンター主催)
2月15日	参加企業 97社/学生参加者数1,796名
2月16日	参加企業 95社/学生参加者数1,421名
2月16日	参加企業102社/学生参加者数1,353名
2月23日	参加企業151社/学生参加者数 870名
2月24日	参加企業146社/学生参加者数 739名
2月25日	参加企業137社/学生参加者数 687名
資格取得講座・公務員講座補助	33講座 1,530名受講
就職対策試験検定料補助	26講座 1,589名受講

■「父母との集い」実施状況 参加者 1,727名

開催地	会場	開催日	参加者
浜松	オークラアクティビティホテル浜松	9月23日(祝)	118名
金沢	金沢都ホテル	10月 2日(土)	40名
岐阜	岐阜グランドホテル	10月 9日(土)	133名
高松	高松センチュリーホテル	10月24日(日)	10名
四日市	四日市都ホテル	10月30日(土)	49名
松本	ホテルブエナビスタ	11月 6日(土)	25名
中部大学	中部大学体育館	11月14日(日)	1,352名

■平成22年度 収支報告書(平成22年4月1日より平成23年3月31日まで)

収入の部 単位(円)

科目	予算額	決算額	差異	摘要
前年度繰越金	14,192,471	14,192,471	0	
後援会会費	121,650,000	121,650,000	0	平成22年度新会員2,433名
雑収入	60,000	60,360	△ 360	預金利息
収入合計	135,902,471	135,902,831	△ 360	

支出の部 単位(円)

科目	予算額	決算額	差異	摘要
助成金	98,925,000	96,147,248	2,777,752	
記念事業寄付金	12,165,000	12,165,000	0	平成22年度新会員2,433名
課外活動援助金	42,180,000	42,180,000	0	課外活動援助金、 スポーツ大会援助金、医療費、 NPOボランティア活動援助金
教育・研究協力費	24,330,000	24,330,000	0	平成22年度新会員2,433名
就職活動援助金	10,750,000	8,847,230	1,902,770	学内企業説明会、 各種講座援助、 就職対策試験検定援助
学生研究支援金	6,000,000	6,000,000	0	チャレンジサイト協力金
奨学援助金	2,000,000	2,000,000	0	
教育活動振興支援費	1,500,000	625,018	874,982	教育活動顕彰制度に対する援助
事業費	23,200,000	20,703,524	2,496,476	
地区別後援会費	11,500,000	10,808,561	691,439	「父母との集い」 案内作成費・会場費等
会議費	4,000,000	3,729,488	270,512	役員会・評議員会、 役員研修会、役員懇親会
印刷出版費	6,700,000	6,165,475	534,525	「信頼」作成費等
災害見舞金	1,000,000	0	1,000,000	
事務費	8,172,000	6,285,473	1,886,527	
通信運搬費	5,200,000	3,610,377	1,589,623	「信頼」ウェブ発送費、切手代等
事務委託費	2,000,000	2,000,000	0	事務担当者委託費
印刷費	300,000	216,000	84,000	封筒等
消耗品費	350,000	249,652	100,348	コピー機保守料、事務用品等
旅費	20,000	1,320	18,680	交通費
租税公課	2,000	1,000	1,000	印紙代
雑費	300,000	207,124	92,876	弔電、供花、振込手数料等
積立金繰入	0	0	0	
予備費	1,000,000	0	1,000,000	
次年度繰越金	4,605,471	12,766,586	△8,161,115	
支出合計	135,902,471	135,902,831	△360	

平成23年度中部大学後援会役員・評議員

■顧問

[理事長] 飯吉 厚夫

[学長] 山下 興亜

[副学長] 中島 泉
後藤 俊夫
小野桂之介

[学監・後援会事務局長] 三浦 昌夫

[教務部長] 大西 直之

[学生部長] 山田 公夫

[事務局長] 大西 信之

[事務局次長] 川尻 則夫

■会長

宮田 弘

■副会長

加藤 鉄男
小澤 寿行

■監査

増田祥一郎
舟橋 直司
酒井 智康

■幹事

小島 達哉
竹内 久樹
石田 俊則
馬場 弘
弓削 俊彦
今村 昭一
水田 克明
横井 勉
矢野 裕司
横山 幸典
高尾 助夫
中村 正和
立田 暢彦
加藤 浩
鈴木 邦尚
西澤 克美
佐竹 一芳
伊藤 誠二
伊神 弘志

戸島 操
牧村 光晃
河合 喜彦
栗山 盛伸
佐藤 渡
小野田 耕治
林 和宏
鎌田 浩之
三宅 耕一
宮島 史明
片岡 久征
後藤 正博
西脇 斉
佐々木 毅
熊谷 基司
河野 高幸
秋田 和典
千賀 達也
青木 信行
庵 淳一
山本 常忠
鈴木 弘二
宮木 睦嗣
小寺 伸明
長谷川 雅文
新家 朋彦
加藤 登
古田 浩司
日江 井伸晃
伊藤 孝雄
谷口 明春
奥山 孝則

皆方 克夫
武藤 恒夫
中島 久英
長谷 治清
伊藤 誠
水野 直利
杉野 哲司
福島 金治
小野 茂樹
永家 秀夫
長谷部 泰明
大岡 義和
稲垣 昌宏
杉野 富夫
久野 泰俊
國井 康弘
岡田 元
山根 満
木村 大介
鈴木 鎮雄
瀧川 靖
小澤 浩
西脇 義郎
大島 実
渡邊 勝己
河地 隆
増井 康
林本 知明
横山 豊
松本 敬史
山本 信幸
森本 茂

大柳 一三
竹内 数夫
澤田 高樹
熊澤 秀作
長尾 伸一
梶田 隆之
西尾 崇
村瀬 満俊
伊丹 伸司
伊藤 慎一
堀池 明
松島 利和
中根 志郎
近藤 隆義
萩田 典由
傍島 茂夫
土居 正司
佐野 雅彦
二村 葉子
大森 雅之
田中 康隆

■評議員

安藤 猛
大地 開三
東山 喜徳
青木 雅淑
丹羽 日出男
柏谷 昭仁
田中 三千雄
武内 和敏

大田 康司
岩田 耕二
福井 徹
澁谷 康弘
植田 茂穂
胡桃 吉三
稲熊 成利
佐藤 美紀
鈴木 実
加納 哲也
長屋 保彦
筒井 孝一
小山 邦壽
南 勝広
梶野 秀夫
井上 晴雅
西垣 清司
野田 嘉久
山内 啓祐
菅沼 嘉一
墨 寿人
浅井 博司
加藤 健二
樋田 俊裕
木村 則雅
新美 哲夫
村瀬 陽一
櫛田 義貞
渡邊 和実
田邊 潔
平野 政彦
長谷川 豊

棚田 雅人
山本 英俊
熊谷 俊和
神戸 正幸
鈴木 鉄次郎
梅村 英樹
朝倉 利浩
松山 宗平
前口 庄一郎
作野 薫
林 勝久
東山 克芳
堀辺 克彦
上原 且資
武山 高則
奥田 清人
金武 文博
高田 慶之
山本 浩司
速水 賀雅二
鈴木 臣二
松原 裕一
三好 慎悟
毛受 昭彦
余吾 博司
白井 一彦
中田 欣也
前川 富男
高村 誠治
堀田 保之

石黒 信男
古海 善徳
籠橋 宏
福田 伸
川上 千尋
小出 有史
小出 義彦
加納 憲一
高木 威
水谷 功司
遠藤 修市
小嶋 敏宏
水草 富也
近藤 雄治
加藤 佐起子
小澤 栄二
猪野 浩史
倉内 久幸
小澤 寿広
山本 雅明
藤井 勝也
鈴木 芳信
横井 正幸

中部大学後援会会則

- 第1条 本会は中部大学後援会と称する。
- 第2条 本会の事務局は中部大学内におく。
- 第3条 本会は中部大学に協力し、大学を後援することを目的とする。
- 第4条 本会は前条の目的を達するために、次に掲げる事業を行う。
(1) 大学の教育、研究及び施設設備の拡充
(2) 学生の就職斡旋活動に関する援助
(3) 大学と父母との連絡・会報の発行
(4) 学生の福利厚生・奨学金援助
(5) 学生の課外教育活動育成に必要な事業・援助
(6) その他本会の目的達成に必要な事業
- 第5条 本会は次の会員をもって組織する。
正会員 中部大学学生の父母
賛助会員 本会の趣旨に賛助する者
- 第6条 本会に次の役員をおく。
会長 1名 / 副会長 2名 / 幹事 各学科若干名
監査 3名 / 顧問 若干名
- 第7条 会長、監査は評議員会において会員のうちから選出する。
2 副会長、幹事は会員のうちから会長が委嘱する。
3 顧問は役員会の議を経て会長が委嘱する。
- 第8条 役員は任務は次のとおりとする。
会長は会務を総理し、本会を代表する。
副会長は会長を補佐し、会長の事故あるときはその職務を代行する。
幹事は会長の指示を受け、会務を行う。
監査は本会の事業及び会計の監査にあたる。
顧問は本会の重要事項について会長の諮問に応じ又は助言する。
- 第9条 役員は任期は1年とする。ただし、重任を妨げない。
2 役員は任期満了後でも、後任の役員が選出されるまでは、なおその職務を行う。
- 第10条 役員会は役員をもって組織し、会長が招集する。
2 役員会は次の事項を審議決定する。
(1) 事業計画に関する事項 (2) 予算に関する事項
(3) 決算に関する事項 (4) その他会長が必要と認める重要事項
3 役員会は役員総数の過半数の出席(委任状を含む)をもって成立し、議事は出席者の過半数によって決定する。

- 第11条 本会に評議員会をおき、評議員をもって組織する。
2 評議員会は毎年1回会長が招集し、次の事項を取り扱うものとする。
(1) 事業計画の承認 (2) 予算、決算の承認
(3) 会長及び監査の選出 (4) 会則の改正
(5) その他役員会において重要と認める事項
3 臨時評議員会は、必要に応じて会長が招集する。
4 評議員会は、評議員総数の過半数の出席(委任状を含む)をもって成立し、議事は過半数の同意によって決定する。
5 評議員会は会員のうちから別に定める定数基準によって会長が委嘱する。
6 評議員の任期は2年とする。ただし再任を妨げない。
- 第12条 本会の経費は会費及び寄付金をもってあてる。
2 正会員の会費は50,000円とし、子女入学の際に納入する。
3 賛助会員の会費は、50,000円以上とし、入会の際に納入する。
- 第13条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。
- 第14条 本会の事務局は、庶務、会計の事務にあたる。
- 第15条 本会に地方支部をおくことができる。

[附 則]

- (1) この会則は昭和42年4月13日から施行する。
- (2) この会の運用について必要な細則は役員会において別に定める。
- (3) 昭和43年 4月12日 一部改正
- (4) 昭和45年 4月 8日 一部改正
- (5) 昭和46年 4月 8日 一部改正
- (6) 昭和48年 4月 8日 一部改正
- (7) 昭和50年 4月 7日 一部改正
- (8) 昭和50年12月20日 一部改正
- (9) 昭和59年 4月 1日 一部改正
- (10) 昭和61年 4月 1日 一部改正
- (11) 昭和62年 4月 1日 一部改正
- (12) 平成12年 5月27日 一部改正

施設利用&イベント開催のご案内

多彩な設備を完備し、教養を深める知的資産の提供や生涯学習などをおこなっている中部大学。

開かれた総合大学をぜひご活用ください。

附属三浦記念図書館

視聴覚コーナーがリニューアル。

大学全体で約59万冊を所蔵しています。蔵書は7学部29学科に対応した幅広い分野の図書・雑誌をそろえており、学内外からインターネットを利用して蔵書の検索ができます。平成23年1月に視聴覚コーナーがリニューアルされました。3階のメディアスペースにチェア席・ソファ席があり、図書館にあるDVD、ビデオテープ、CDなどを視聴することができます。在学生のご父母・保護者、中部大学卒業生、春日井市近隣に在住・在勤の方にもご利用いただけます。



学期中の開館時間▶[平日]9時~21時 [土曜日]9時~16時50分

新穂高山荘

四季折々の魅力を満喫できます。

新穂高山荘は、新穂高温泉郷のほぼ中央に位置する絶好のロケーションが魅力です。スケールの大きい雄大な山岳美と新緑・紅葉の美しさは、まさに自然の宝庫。渓流にそった16,000㎡の敷地には、24時間利用可能な石造りの露天風呂を備えた温泉施設もあります。学生、教職員、卒業生とご家族の厚生施設として利用され、もちろん在学生のご家族もご利用いただけます。お申込みは後援会事務局まで。



中部大学音楽祭

年に一度のチャリティーコンサート。

毎年チャリティーコンサートとして開催している中部大学音楽祭。第7回目を数えた2010年度は、名古屋市公会堂でおこなわれました。中部大学音楽祭では初めての参加となったチアリーダー部がオープニングで登場し会場に彩りを添え、その後、本学の5つの音楽系クラブが、日頃の練習の成果を披露しました。次回の音楽祭は、平成23年12月17日(土)に開催の予定です。詳細は、決定次第ホームページで公開いたします。



オープンカレッジ

2011秋オープンカレッジ聴講生募集。

地域の皆さまに大学の講義をオープンカレッジとして開放しています。その数、約160科目。中部大学の選りすぐりの講義を大学生と一緒に受講してみませんか? 学生食堂や図書館、駐車場、スクールバスも利用できます。

講義期間	平成23年9月21日(水)~ 平成24年2月11日(土)
講義回数	週1回(約4ヵ月間)15~16回
聴講料	1科目10,000円 (後援会会員とその配偶者の方は5,000円となります)
登録料	5,000円(初回のみ) ※後援会会員の方は無料となります。
申込締切	8月16日(火) ※まずは資料請求の上、締切日までに申し込みください。 E-mail:ext@chubu.ac.jp

[お問い合わせ先] エクステンションセンター

TEL.0568-51-4392 (直通)
FAX.0568-51-3166



みんなで笑って、学んで、夢に打ち込む。
このキャンパスでの充実した毎日が、
希望の未来へとつながっていく。





MY
CAMPUS



武道場が、 武道体育館として リニューアル。



武道館の老朽化にともない、場所も新たに進められていた「武道体育館」の新築工事が無事終了し、2011年3月に竣工しました。4月23日（土）には、武道体育館を披露する「武道体育館開き」を、1階の剣道場にて開催。道場前のフロアでは、伊藤太春日井市長、飯吉厚夫総長、山下興亜学長によるテープカットがおこなわれました。その後、道場では剣道部22期生であり、「転輪太鼓」主宰の国分氏による勇壮な太鼓演奏、さらに錬士七段の伊藤市長と教士八段の師範、剣道部顧問である渡邊香教授による剣道形が、出席者約180人の前で披露され



ました。剣道部員とOBを交えた稽古がおこなわれた後は、剣道部46期生の澤田主将から、「新道場は先輩方の努力と活躍の賜物であると同時に、それらを引き継ぎ、発展させる覚悟を持つことが必要だ」と強い意気込みを感じるお礼の挨拶。道場は大きな拍手に包まれました。

武道体育館は4階建てで延床面積3180㎡の

鉄筋コンクリート構造。1階は剣道場で、2階は柔道、空手、少林寺拳法、合気道の道場。3階はバスケットコートで1面を確保できるアリーナを備え、4階には測定室などがあり、日々、体育の授業やクラブ活動で利用されています。



キャンパス内に、 民族資料博物館が オープン。



附属三浦記念図書館内に設置していた民俗資料室を、今年度から新たな歴史資料を加えて拡張リニューアル。「中部大学民族資料博物館」として、4月

26日(火)に開館式を挙行了しました。伊藤太春日井市長、飯吉厚夫総長、山下興亜学長、和崎春日館長、畑中幸子名誉教授によるテープカットがおこなわれ



ると、マスコミ取材を含めた多くの来賓の方々に賑わいました。

民族資料博物館は、これまで国

際関係学部の研究者らによつて世界各地から収集されてきた資料のほかに、新たにシルクロード文化圏や中南米地域の資料を加え、総数約2700点を収蔵。資料収集と調査研究をおこないながら、常設展示・企画展示を通じてより多くの資料公開や、講義、実習などもおこなっています。常設展示は、ガンダーラ、ペルシャ、イスラームなどのシルクロード文化圏に関わる資料を展示したシルクロード室と、世界の



地域を6つのゾーンに分けてそれぞれの地域の民族資料や生活文化を紹介した地域研究エリアの二部構成。また春季(3月)と秋季(9月)の年2回、多目的室にて企画展示も開催します。学生や教職員のほかに、地域の方々も無料で入館することができ博物館です。

Campus Map

- ① 1号館〈本部棟／事務室／教務部／学生部〉
- ② 2号館〈事務室／研究室／講義室／ゼミ室／キャリアセンター／渉外部〉
- ③ 3号館〈生産技術開発センター／分析計測施設／実験室〉
- ④ 5号館〈研究室／実験室／ゼミ室〉
- ⑤ 新5号館〈メディア教育センター／実験室／講義室〉
- ⑥ 6号館〈研究室／講義室／実験室／ゼミ室〉
- ⑦ 7号館〈工学センター棟／工学部事務室／研究室／ゼミ室〉
- ⑧ 8号館〈CAD教育施設／実験室／実習室〉
- ⑨ 9号館〈保健管理室／講義室／研究室／学生ラウンジ／エクステンションセンター／学習支援室〉
- ⑩ 10号館〈コンピュータコンサルテーションセンター／講義室／ゼミ室／学生ラウンジ〉
- ⑪ 11号館〈研究室／実験室／講義室〉
- ⑮ 15号館〈講義室〉
- ⑯ 16号館〈総合研究センター〉
- ⑰ 17号館〈研究室／実験室〉
- ⑱ 18号館〈材料構造実験施設〉
- ⑲ 19号館〈語学センター／建築製図室／第2学生ホール／講義室／学生ラウンジ〉
- ⑳ 20号館〈国際関係学部事務室／研究室／ゼミ室／学生ラウンジ／日本語教育センター／留学生科〉
- ㉑ 21号館〈経営情報学部事務室／研究室／講義室／ゼミ室／学生ホール〉
- ㉒ 22号館〈講義室／学術情報センター〉
- ㉔ 24号館〈学術情報センター〉
- ㉕ 25号館〈人文学部事務室／講義室〉
- ㉖ 26号館〈研究室／ゼミ室〉
- ㉗ 27号館〈メディア教育センター・スタジオ／講義室〉
- ㉘ 28号館〈講義室／実験室〉
- ㉙ 29号館〈クラブサークルプラザ／体育・文化センター事務室〉
- ㉚ 30号館〈応用生物学部事務室／研究室／ゼミ室／実験室／講義室〉
- ㉛ 31号館〈研究室／ゼミ室／実験室／講義室〉
- ㉜ 32号館〈実験室〉
- ㉝ 33号館〈研究室／実験室／実習室〉
- ㉞ 36号館〈土木製図室／実験室〉
- ⑤① 50号館〈生命健康科学部事務室／研究室／ゼミ室／実験室／講義室〉
- ⑤② 51号館〈講義室／ゼミ室／実習室／学生ホール〉
- ⑤③ 53号館〈実験動物教育研究センター〉
- ⑤⑤ 55号館〈講義室／研究室／実験室／実習室〉
- ⑦① 70号館〈現代教育学部事務室／研究室／ゼミ室／講義室〉
- ⑦② 71号館〈講義室／実習室／器楽演奏室／多目的室〉
- ⑦③ 72号館〈講義室／管理栄養実習室〉



- A 三浦幸平メモリアルホール
- G 体育・文化センター
- M 女子留学生寮
- S 武道体育館
- B キャンパスプラザ
- H 体育館・講堂
- N 職員宿舎
- T 第3学生ホール
- C 第1学生ホール
- I サブアリーナ
- O 三幸橋
- U フロンティア研究棟
- D 附属三浦記念図書館
- J 高電圧実験室
- P 弓道場
- V 温室棟
- E リサーチセンター
- K 学生寮／留学生寮
- Q 洞雲亭／工法庵／燭柯軒
- W リサ農園
- F 創立者胸像
- L 留学生寮
- R 野外ステージ

テレフォンガイド 中部大学 / 代表番号 0568-51-1111 総合相談コーナー 0568-51-6417

お問い合わせ内容	担当部署
後援会について	●「父母との集い」 ▶ 後援会事務局(渉外部) 0568-51-4745(直通)
成績・学業に関すること	●試験・各種証明書(成績・在学・卒業・卒業見込) ●教職課程 ●その他、就学上の相談 ▶ 教務課
学生生活について	●休学・退学、住所変更等 ●奨学金 ●アルバイト ●下宿 ●クラブ活動 ●学生相談 ●カウンセラー紹介 ▶ 学生課
就職について	●資格取得講座 ●インターンシップ ▶ 学生相談室 0568-52-0381(直通) ▶ キャリアセンター 0568-51-4184(直通)
学費・その他の納付金について	▶ 会計課
入学試験について	▶ 広報課 入試課 ※入試情報ホットライン 0120-873941(直通)
国際交流(留学)について	▶ 国際交流センター
生涯学習に関すること	●公開講座 ●オープンカレッジ ●アカデミックレクチャー ▶ エクステンションセンター 0568-51-4392(直通)
中部大学音楽祭・キャンパスコンサートについて	▶ 渉外部

中部大学ホームページもご利用ください。 <http://www.chubu.ac.jp/>

住所変更について

住居移転、町名変更などによって住所に変更があった場合、学生課への届け出が必要となります。お手数ですが、ご子息・ご息女に学生課までお越しくださるようご連絡をお願いいたします。

中部大学後援会就職活動援助

後援会では、資格取得講座、就職対策講座の受講料・受験料の補助をしております。ご子息・ご息女の就職活動のスキルアップや将来設計に、ぜひ受講をおすすめください。